

TIBCO WebFOCUS®

リリースノート

バージョン 9.0.0

March 2022

DN4501762.0222



目次

1. バージョン 9.0.0 リリースガイド	7
バージョンおよびビルド情報	7
新機能	7
TIBCO WebFOCUS コンテナエディション.....	7
TIBCO WebFOCUS DSML サービスのコンテナエディション.....	8
TIBCO WebFOCUS Hub.....	9
WebFOCUS DESIGNER のデータタブの機能強化.....	10
デザイナーページのコンテナの機能強化.....	10
DESIGNER での HOLD ファイルの作成.....	11
複数ディメンショングラフでのオートドリルダウン結果のフィルタ.....	11
WebFOCUS DESIGNER のマルチレイヤマップ.....	15
指定数でのビンの作成.....	17
日付時間フィールドのフィルタゲ.....	18
新しいデフォルトオートプロンプトテンプレート.....	20
Instant Insights の時系列グラフ.....	22
Excel テーブルでのデータの出力.....	22
Excel テーブル.....	23
集約ページのコンテナでの Analytic Document オプション.....	24
垂直グリッドでのフィルタコントロールの表示.....	26
データフロー間でのオブジェクトのコピーおよび貼り付け機能.....	28
データフローのパフォーマンス強化.....	29
クラウド環境での ESRI 認証方法.....	30
REST API を使用した Google Mail アダプタ	30
新しい Apache Parquet アダプタ.....	30
SharePoint でのサイトアクセス制限のサポート.....	30
gzip 解凍での C ベース機能の使用.....	31
修正済み問題	31
アップグレードに関する注意事項	39
ESRI 人口統計レイヤの廃止と追加	40

既知の問題	41
ブラウザ情報	42
2. リリース情報	43
ブラウザ情報	43
TIBCO WebFOCUS のアクセシビリティ準拠	47
アクセシビリティのサポート基準	47
適合ステータス	48
アクセシビリティ機能の範囲	48
テクノロジー仕様	49
制限事項	50
TIBCO WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム	51
TIBCO WebFOCUS での Java Platform、Standard Edition (Java SE) のサポート	52
サポート対象の Web サーバおよび Application Server	52
サポート対象の RDBMS およびドライバ	53
ローカリゼーション (NLV) および NLS の制限事項	55
国際言語サポート (NLS)	55
ローカライズ版のサポート (NLV)	56
TIBCO WebFOCUS および TIBCO WebFOCUS Reporting Server	56
言語	57
TIBCO WebFOCUS Client および ReportCaster	58
TIBCO WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート	59
TIBCO WebFOCUS レポートフォーマットおよび Microsoft 製品との関連付け	59
TIBCO WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマットおよび Microsoft Office 製品のサポート	60
Microsoft Office 2003 のサポート	61
TIBCO WebFOCUS EXL2K および PPT フォーマットと Microsoft Office Viewer 製品のサ ポート	61
Microsoft Office 365 のサポート	61
ハイパーリンクを使用してレポートを実行する際の注意事項	62
TIBCO WebFOCUS の DOC フォーマット	62

Legal and Third-Party Notices	63
--	-----------

1

バージョン 9.0.0 リリースガイド

ここでは、WebFOCUS の上記バージョンについて、必要な最新情報を提供します。

トピックス

- ☐ [バージョンおよびビルド情報](#)
- ☐ [新機能](#)
- ☐ [修正済み問題](#)
- ☐ [アップグレードに関する注意事項](#)
- ☐ [ESRI 人口統計レイヤの廃止と追加](#)
- ☐ [既知の問題](#)
- ☐ [ブラウザ情報](#)

バージョンおよびビルド情報

リリース日	ビルド番号	Reporting Server
2022 年 2 月	wf021322b Gen 2 wi021322b as021222a	900 Gen 2351

新機能

TIBCO WebFOCUS コンテナエディション

TIBCO WebFOCUS コンテナエディション (CE) は、コンテナベースの展開向けに設計された、拡張性の高いマイクロサービスベースの分析プラットフォームを提供します。この新しいエディションは、必要なすべての OS コンポーネントとライブラリを含むコンテナイメージに TIBCO WebFOCUS ソフトウェアコンポーネントをパッケージ化し、Kubernetes クラスタで展開および実行することができます。

TIBCO WebFOCUS CE で利用可能な利点と効果は以下のとおりです。

- ❑ **自動展開** 展開が必要な WebFOCUS コンポーネント (例、Reporting Server)、および展開先 (例、特定のクラスタ) を識別します。
- ❑ **運用コストとインフラストラクチャコストの削減** 必要に応じて、Kubernetes クラスタにサービスとリソースを追加または削除します。データソースは、クラウド環境 (プライベート、パブリック) にもオンプレミス環境にも存在できます。
- ❑ **導入および利用の拡大** ターゲットユーザ向けに固有の BI アプリケーションをオンプレミス環境で開発し、必要に応じてクラウド環境で展開します。Kubernetes 環境に WebFOCUS をインストールすると、開発とテストが内部クラスタまたは外部クラスタ内で行われます。
- ❑ **ポータビリティ** クラウド環境とオンプレミス環境の間で完全移植可能です。
- ❑ **ダイナミックオートスケーリング** ワークロードリソースを迅速に調整し、ユーザおよびデータの要求に対応します。
- ❑ **効率的なアップグレード** Kubernetes クラスタでは、一括アップグレードがサポートされており、以前のインストールの構成およびログは保持されます。

クラウドプロバイダが提供する既存の Kubernetes サービスも利用できます (例、Amazon Elastic Kubernetes サービス (EKS))。

TIBCO WebFOCUS CE を Kubernetes 環境で展開することで、プライベートクラウドのさまざまな展開オプションが使用でき、ダイナミックワークロードに基づいて一元管理できます。

Docker イメージを使用することで、TIBCO WebFOCUS プラットフォームの主要コンポーネントと機能を分離し、特定のコンテナにパッケージ化して Kubernetes で実行できます。その結果、WebFOCUS の各コンポーネントが個別にスケーリングされ、ユーザ、データ、およびデータソースへのオンデマンド対応が可能になります。

TIBCO WebFOCUS DSML サービスのコンテナエディション

TIBCO WebFOCUS は、コンテナ化されたデータサイエンスと機械学習 (DSML) のプラットフォームを提供します。これは、TIBCO WebFOCUS コンテナエディション (CE) を使用して Kubernetes クラスタで展開、実行することもできます。

TIBCO WebFOCUS DSML CE は、次の 3 つのサービスで構成されます。

- ❑ **Instant Insights (自動分析)** データセットに対する高度な分析の実行およびビジュアライゼーションやナレーションの生成が行えます。この場合、手動でのデータ準備や分析、データサイエンスや統計の予備知識は必要ありません。

- ❑ **機械学習機能 (ML 機能)** データフローの作成時に、高度な統計の知識がなくても、機械学習機能を使用して、データセットに対して予測分析を簡単に実行することができます。
- ❑ **メタデータ分類 (メタデータ)** データを検証し、フィールドに対して分類を割り当てます。その後、この分類は、別のデータソースのフィールドとの一致に使用することができます。アップロードするデータを分類し、この分類を使用して、データフローの UNION でフィールドを一致させることができます。

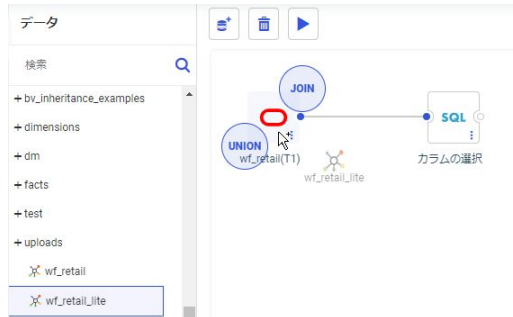
TIBCO WebFOCUS Hub

TIBCO WebFOCUS Hub からは、TIBCO WebFOCUS のすべてのエリアにナビゲートできます。TIBCO WebFOCUS Hub は、統合されたコンテンツ作成機能とシームレスな管理操作の両方にアクセス可能な統一ツールです。この新しいバージョンでは、WebFOCUS Client と Reporting Server の両方の最近使用した項目とお気に入りの項目をホームビューから直接表示できます。また、統合されたページツールバーを活用して、すべてのアクションメニューにアクセスしたり、コンテンツをソートしたり、リストビューとタイルビューを切り替えたり、表示する列を選択したりできます。デザインが一新されたユーザインターフェースでは、コンテンツを一目で直観的に識別することができます。



WebFOCUS DESIGNER のデータタブの機能強化

WebFOCUS DESIGNER でコンテンツを作成する場合、[データ] タブでの新しいオプションを使用してデータの強化と操作を行えます。ユーザは、他のデータソースとの JOIN および UNION を作成したり、列の選択を変更したり、新しい演算を追加したり、指定した条件に基づくレコードのフィルタを実行したりできます。また、データプロファイル情報にアクセスし、実行したアクションに基づいて結果のデータを分析することができます。



デザイナページのコンテナの機能強化

WebFOCUS DESIGNER でページを作成する際に、ページキャンバス上でコンテナを直接結合、分離、複製することが可能になり、ページのレイアウトやコンテンツをより迅速かつ簡単にカスタマイズできるようになりました。

ドラッグアンドドロップ機能が拡張され、コンテナの結合に新しいオプションが追加されました。デフォルト設定では、ページ上の新しい場所にコンテナをドラッグすると、既存のコンテナが移動し、コンテナの配置順序を変更できます。他のコンテナが移動しないようにするには、Ctrl キーを押しながらコンテナを新しい場所にドラッグします。ページ上の別の既存コンテナ上にドロップすると、これらを結合するオプションが表示され、結合先の複数コンテンツコンテナのタイプを選択することができます。タブ、アコーディオン、カルーセル、パネルグループコンテナに結合することができます。

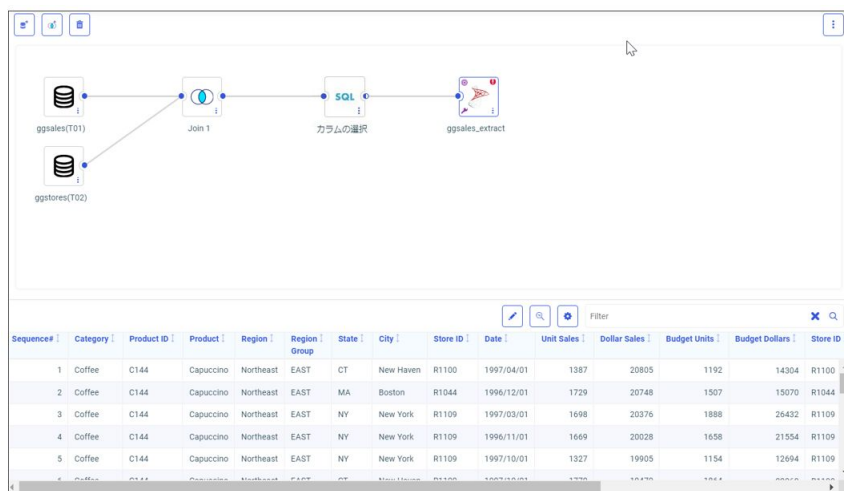
タブ、アコーディオン、カルーセルコンテナなどの複数コンテンツコンテナを作成する場合は、コンテナを結合するか、[コンテナ] タブのオプションを使用して、コンテナとコンテナ内のすべてのコンテンツを簡単に複製することができます。この場合は、コンテナを右クリックして [コンテナの複製] をクリックします。これにより、各項目を新しい複数コンテンツコンテナに再度追加する時間が節約できます。

別の方法として、パネルグループ内に複数のコンテナを含めることもできます。パネルグループを使用すると、画面サイズが縮小される際に、レスポンス折り返し動作で複数のコンテナをまとめておくことができます。後からパネルグループのコンテナを削除する場合は、次のいずれかの方法で削除できます。パネルグループから 1 つのコンテナを削除するには、コンテナを右クリックして [キャンバスへ移動] を選択します。パネルグループを完全に解除し、ページ上にコンテナを残す場合は、パネルグループのブランク領域を右クリックし、[パネルグループからコンテナを削除] を選択します。コンテナがページのブランク領域に追加されます。

DESIGNER での HOLD ファイルの作成

ステージングテーブル (HOLD ファイル) を作成する新しいワークフローが、TIBCO WebFOCUS DESIGNER で作成したコンテンツで使用できます。ステージングテーブルを作成すると、ユーザは DESIGNER の [データ] タブでデータに対して実行したアクションを、セッションベースのファイルまたは永続ファイルとして保存できます。

この新しいデータソースは、コンテンツの作成に使用することができます。この機能を使用することで、コンテンツ作成の柔軟性が高まり、より複雑なグラフやレポートの作成が可能になります。



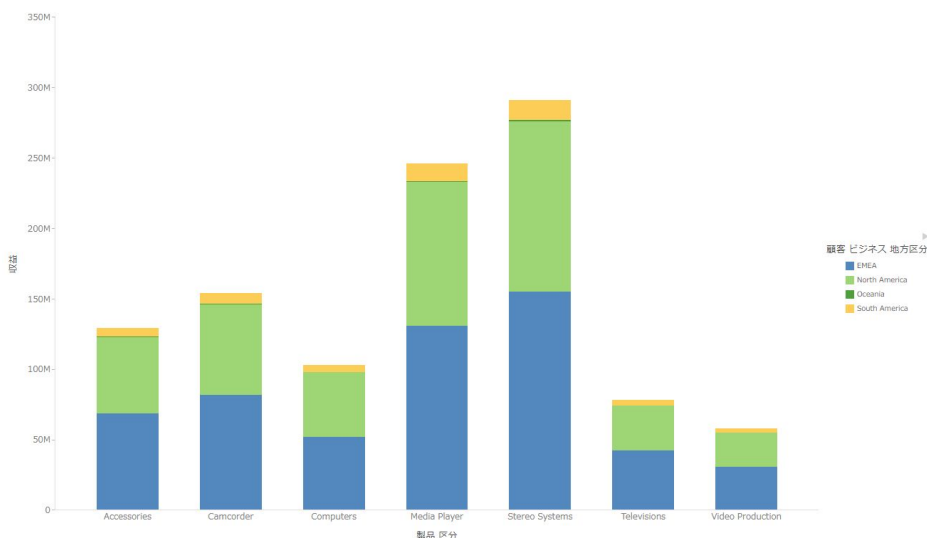
複数ディメンショングラフでのオートドリルダウン結果のフィルタ

[オートドリルダウン] 機能を有効にすると、データソースのディメンション階層レベルの段階的な移動が可能になります。これにより、ユーザの情報ニーズに応じて、特定エリアのデータを確認したり、データソース構造内を移動したりできます。

レポートにドリルダウンする場合、結果は選択した値および上位ソートフィールドの関連する値に基づいてフィルタされます。下位フィールドで適用される値はすべて表示されます。グラフには明示的なフィールド階層が存在しないため、実行時のメニューからさまざまなオプションを選択して、複数ディメンションを含むグラフでオートドリルダウンを使用する際のフィルタの適用方法を指定することができます。これにより、グラフ内のデータ階層ナビゲートでグラフの詳細レベルが指定でき、オートドリルダウン機能による瞬間的操作性と特定レベルのユーザコントロールを組み合わせることができます。

複数ディメンションフィールドを含む (例、[横] バケットに 1 つのディメンションフィールドと [色] バケットに別のディメンションフィールドが存在する) グラフでオートドリルダウンを有効にした場合、実行時オプションの選択に基づいて、オートドリルダウンナビゲーションの一部としてフィルタを適用するかどうかを選択できます。フィルタの適用を選択した場合、オートドリルダウンを使用してフィールド階層にドリルダウンすると、結果は、クリックしたグラフ領域にドリルダウンし、この領域に関連するすべてのディメンションフィールドの値に基づいてフィルタされます。フィルタの適用を選択しなかった場合、ドリルダウン先のディメンションは、階層内の次のフィールドで置換され、選択したオートドリルダウンリンクの値でフィルタされます。その他のフィールドはフィルタされません。グラフには、他のディメンションフィールドに適用可能なすべての値が表示されます。

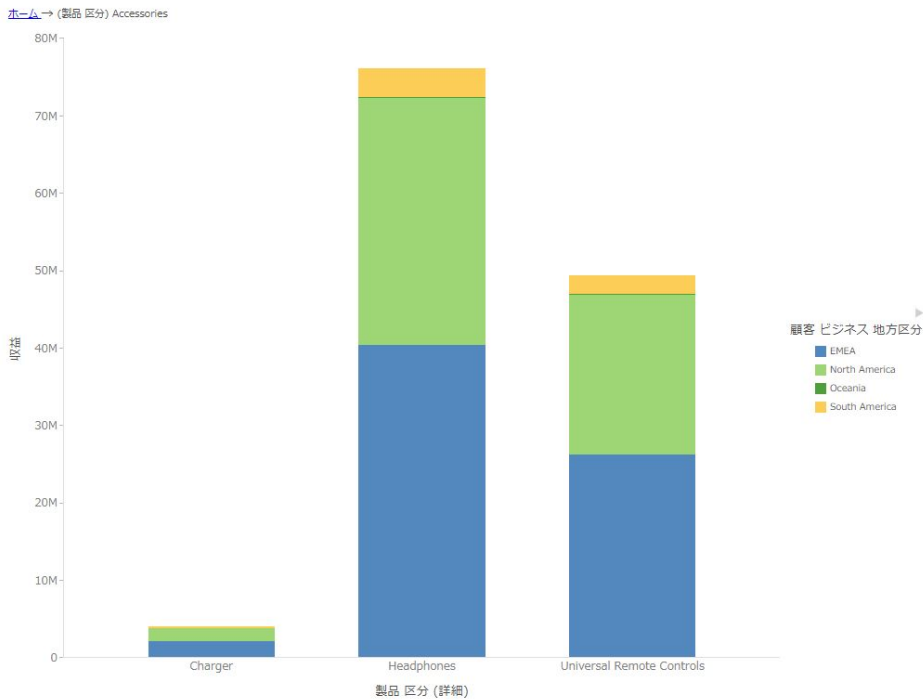
たとえば、下図は、[横] バケットに [製品区分] フィールド、[色] バケットに [顧客ビジネス地方区分] を使用した積み上げ棒グラフを示しています。



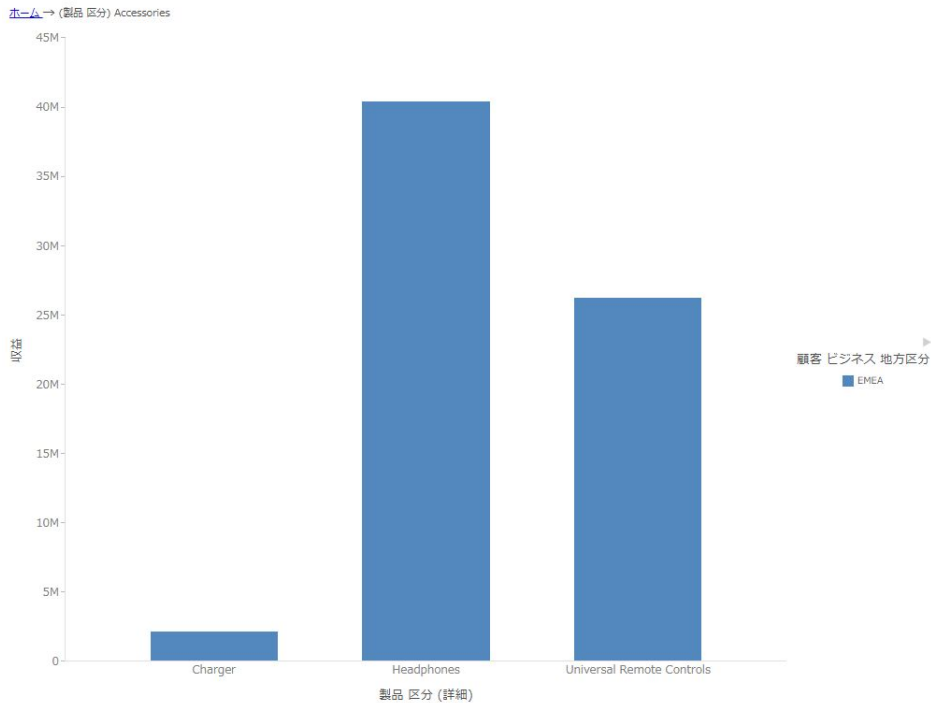
このグラフを実行し、グラフのセグメントにマウスポインタを置くと、下図のように、フィルタ付きまたはフィルタなしのオートドリルダウンを使用するオプションがツールヒントに表示されます。



オートドリルダウンを使用して、[Accessories] ライザのセグメントから [製品区分] フィールドにドリルダウンし、フィルタの適用を選択しなかった場合、下図のように、結果のグラフには、すべての [顧客ビジネス地方区分] の [付属品] 内のサブカテゴリが表示されます。



[Accessories] ライザのセグメントから [製品区分] にドリルダウンし、フィルタの適用を選択した場合、下図のように、結果のグラフにはドリルダウン先のセグメントの [顧客ビジネス地方区分] のみが表示されます。

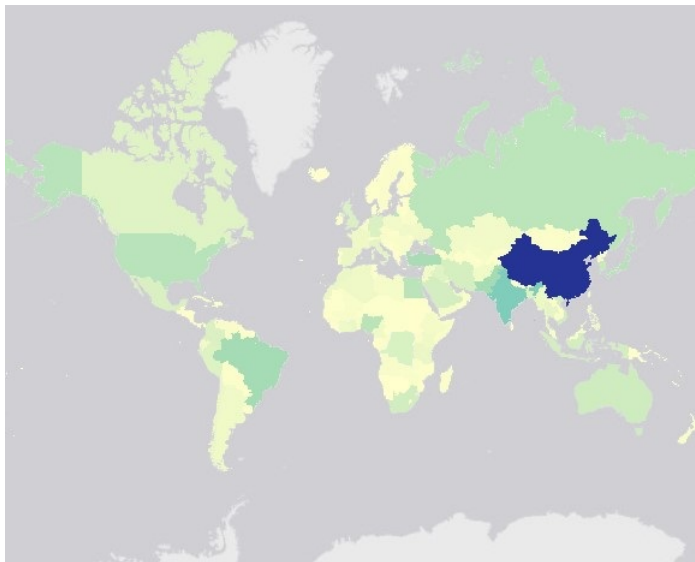


WebFOCUS DESIGNER のマルチレイヤマップ

WebFOCUS DESIGNER のユーザインターフェースを使用して、単一データソースからマルチレイヤマップを作成することができます。マルチレイヤマップは、複数の地理位置情報フィールドとデータソースの地理情報を単一マップに表示するスタンドアロンのプロシジャとして作成でき、比較がしやすくなります。さらに、追加のデータレイヤとコンテンツレイヤでマップを強化することができます。これらは、WebFOCUS DESIGNER で直接作成することも、既存のマッププロシジャまたは構成済みコンテキストレイヤから参照することもできます。

マルチレイヤマップ作成の実行時インターフェースでは、ESRI ArcGIS Online またはオンプレミスの ArcGIS サーバによるナビゲーション機能も使用できます。これにより、マップビューでのナビゲート、選択、調整が可能になり、コンテンツの掘り下げや本質的な情報の把握がしやすくなります。

コロプレスマップまたはバブルマップがデータレイヤとして使用できます。コロプレスマップは、地理情報に基づくヒートマップを作成する場合に使用します。コロプレスマップは、位置に基づくデータ傾向および地域全体のデータ分布を視覚化するのに便利です。以下はその例です。



バブルマップは、異なるサイズのシンボルを使用して、マップ内のさまざまな領域または地点に関連するデータを表示します。下図はその例です。



これらのデータレイヤは、リポジトリまたは ESRI ArcGIS から参照されるコンテンツレイヤを使用して強化し、データに関する洞察を深めることができます。

指定数でのビンの作成

ビンにより、メジャーフィールドの値範囲を使用してコンテンツを並べ替え、データの分散と分布を簡単に確認することができます。ビンの一般的な使用例としてヒストグラムがあります。

WebFOCUS DESIGNER では、2 つの方法でビンを作成することができます。ビン幅を指定することで、ビン化されたメジャーフィールドのすべての値を含む固定範囲のビンが作成されます。別の方法として、作成するビンの数を指定して、メジャーフィールドの値の合計範囲に関係なく同じ数のビンが生成され、各ビンのサイズが適切に変更されるようにすることができます。固定数のビンを指定することで、グラフまたはレポートのソート値の数を制御できるため、解釈がしやすくなります。

任意の数のビンを作成するには、メジャーフィールドを右クリックし、[ビン値] を選択します。下図のように、ビンの作成オプションが表示されます。

Bin type

Width Number

Bin width

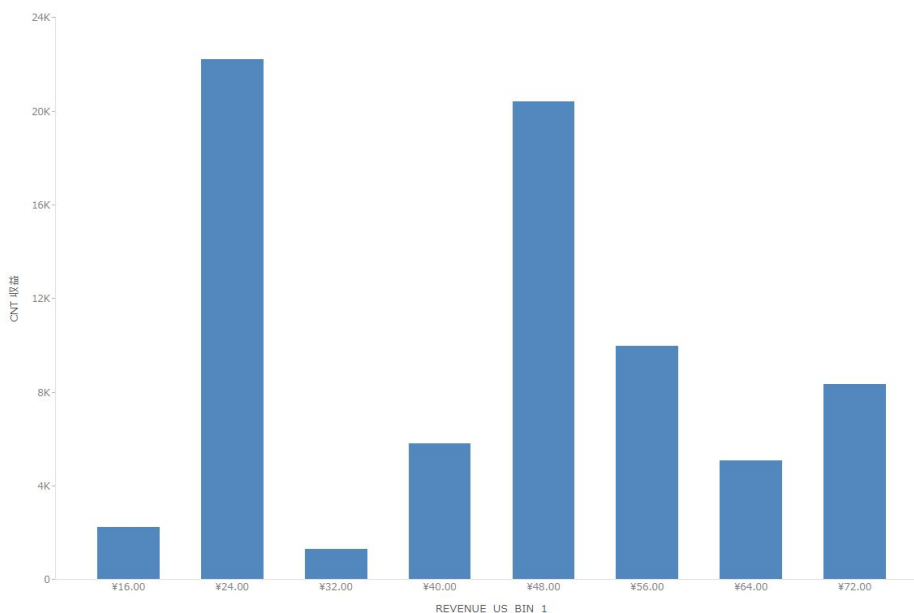
100

Show as

Value Range

Cancel OK

[ビンのタイプ] を [個数] に設定し、[ビンの数] テキストボックスに、コンテンツに表示するビンの数を入力します。この値は、0 より大きい整数にする必要があります。[OK] をクリックし、ビンを作成します。ビンは、フィールドリストの [ディメンション] から使用可能な新しいフィールドとして作成され、ソートフィールドとしてコンテンツに追加できます。ヒストグラムを作成するには、棒グラフの [横] バケットにビンを追加し、ビンを作成したフィールドと同じフィールドを [縦] バケットにメジャーフィールドとして追加します。最後に、[件数] 集計をメジャー フィールドに適用します。下図は、ビンの数を 8 に設定し、8 個のビンが作成されたヒストグラムを示しています。



日付時間フィールドのフィルタタグ

日付時間範囲の開始点と終了点の日付と時間を指定することで、WebFOCUS DESIGNER の日付時間フィールドにフィルタを設定することができます。これにより、日付時間フィールドに精度の高いフィルタを適用でき、1 日以内でもフィルタを設定することができます。

WebFOCUS DESIGNER のグラフ、レポート、ページの日付時間フィールドでプロンプトフィルタまたは静的フィルタを作成する場合、通常の日付フィルタオプションに加えて、時間範囲を設定するオプションおよびタイムゾーンを変更するオプションが使用できます。静的フィルタの範囲を選択するか、プロンプトフィルタの [カスタム] 範囲オプションを使用することで、下図のように、時間、分、秒、ミリ秒、および 12 時間システムの半日を設定するスピナがカレンダーの下に表示されます。数値を入力することもできます。

<

12 月 ▼

2021 ▼

>

1 月 2022

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1 月 2022

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☒ 時間範囲の適用

開始時間

09h ▼

14m ▼

43s ▼

午後 ▼

終了時間

07h ▼

31m ▼

26s ▼

午後 ▼

選択した開始時間は、時間範囲の開始日に適用され、終了時間は終了日に適用されます。

使用可能な時間構成要素は、フィルタが適用される日付時間フィールドのフォーマットによって異なります。下図は、精度が分単位に設定された HYYMDI フォーマットを使用したフィールドの日付時間フィルタコントロールを示しています。その結果、時間と分の時間構成要素のみが設定でき、残りの単位は表示されません。

< 12月 ▼ 2021 ▼ 1月 2022 >

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

☒ 時間範囲の適用

開始時間 終了時間

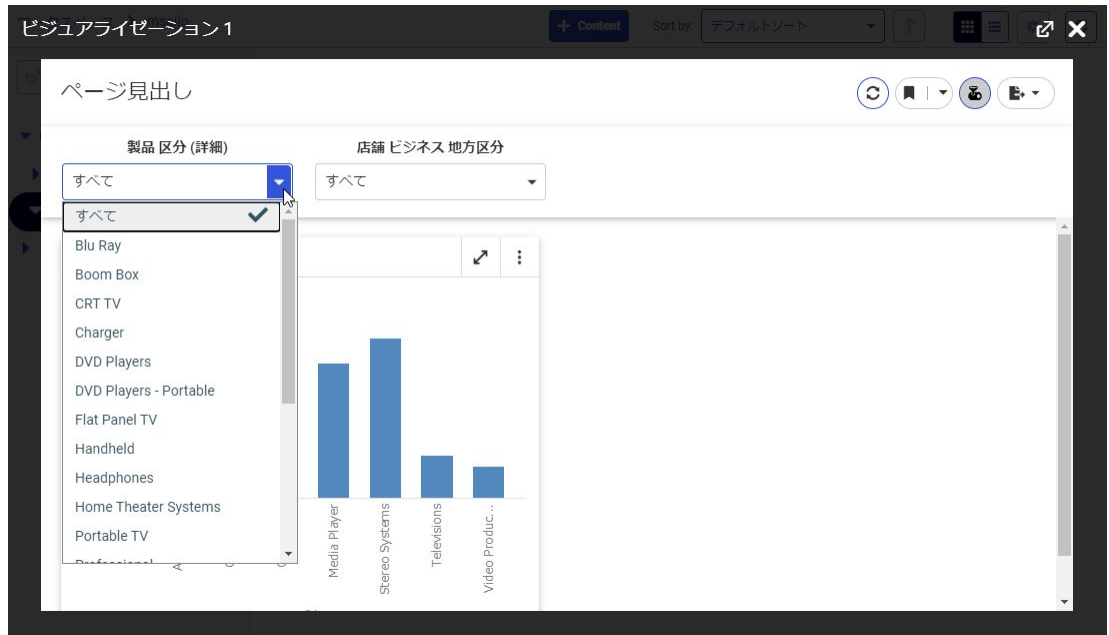
09h ▼	14m ▼	午後 ▼	07h ▼	31m ▼	午後 ▼
-------	-------	------	-------	-------	------

日付時間範囲の設定後、開始時間と終了時間に適用するタイムゾーンを変更し、ユーザの現在地とデータの記録元との時差に基づいて、フィルタ済みのデータを調整することもできます。

新しいデフォルトオートプロンプトテンプレート

デザイナオートプロンプトテンプレートが、選択パラメータを含む WebFOCUS DESIGNER コンテンツのデフォルトインターフェースになりました。

この新しいデフォルトテンプレートでは、WebFOCUS DESIGNER ページの外観に近い使い慣れたレイアウトで、迅速かつ直観的なフィルタ動作が適用されます。デフォルト値が指定されていないパラメータを含むコンテンツを実行すると、最初にデザイナーオートプロンプトページが表示されます。下図のように、ユーザは、フォーマット固有の自動生成コントロールと各コントロールで使用可能な値を使用して、これらのパラメータに値を指定することができます。



Instant Insights の時系列グラフ

Instant Insights では、データセットの長期的な傾向および季節性を確認できるようになりました。時系列機能は、データ内の時系列を自動的に検出します。データ内で季節性または傾向が特定されると、これらがグラフとして表示されます。



これらのグラフは WebFOCUS DESIGNER キャンバスに追加してページを作成したり、既存ページやダッシュボードに追加したりできます。さらに、これらの分析情報を保存し、他のユーザと共有することもできます。

Excel テーブルでのデータの出力

WebFOCUS DESIGNER では、コンテンツを作成し、データを Excel テーブルとして出力できるようになりました。これにより、結果の出力を Excel で簡単にフィルタしたり並べ替えたりすることができます。

[ビジュアライゼーション] タブで、作成したコンテンツの出力フォーマットとして [XLSX] を選択し、[出力の設定] の [XLSX 機能] 下で [Excel テーブルを有効にする] のチェックをオンにします。

The screenshot shows the 'Format' tab in the application settings. The '出力の設定' (Output Settings) dropdown is set to 'XLSX ページ' (XLSX Page). Below this, the 'ページサイズ' (Page Size) is set to 'Letter'. The '方向' (Orientation) is set to '縦' (Portrait). The 'ページマージン' (Page Margin) section shows checkboxes for '左' (Left), '上' (Top), '右' (Right), and '下' (Bottom), all of which are checked. The 'XLSX 機能' (XLSX Features) section shows a checkbox for 'Excel テーブルを有効にする' (Enable Excel Table) which is checked. Below this, there is a text input field containing 'My_Table'.

Excel テーブル

Excel XLSX 出力フォーマットでは、新しい Excel テーブル機能を使用して、レポート内のデータを定義済みのテーブルにグループ化できます。スタイルシート内で `TYPE=DATA` 宣言に `IN-XLSXTABLE` 属性を使用すると、`FORMAT XLSX` で生成された XLSX 表形式レポートがワークシート内の Excel テーブルに変換されます。

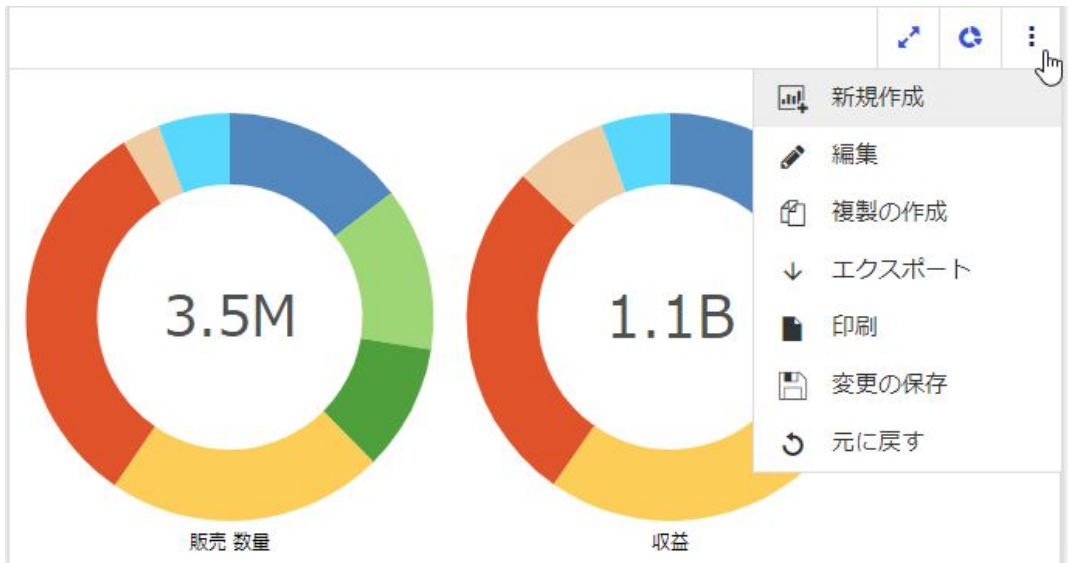
下図のように、Excel テーブルを作成することで、Excel ワークシートのデータに対するソートとフィルタのオプションが自動的に使用できるようになります。これにより、Excel 内に直接表示されるデータの分析、操作、およびスタイル設定が可能になります。

	A	B	C	D	E	F	G
1	売り上げレポート						
2							
3	Region	Category	Product	Dollar Sal	Unit Sal	Budget Dollar	Budget Unit
4	Midwest	Coffee	Espresso	1294947	101154	1250232	101869
5			Latte	2889566	231623	2827800	233657
6		Food	Biscotti	1091727	86105	1067629	85839
7			Croissant	1761124	139182	1709733	139648
8			Scone	1495420	116127	1444359	113776
9		Gifts	Coffee Grinder	619154	50393	613453	50628
10			Coffee Pot	598978	47156	614007	47779
11			Mug	1086943	86718	1096150	87092
12			Thermos	577906	46507	564010	46819
13	Northeast	Coffee	Capuccino	542095	44785	561491	44432
14			Espresso	850107	68127	872902	69776
15			Latte	2771815	222866	2810069	221712
16		Food	Biscotti	1802005	145242	1848682	145152
17			Croissant	1670818	137394	1739522	137864
18			Scone	907171	70732	865703	68415
19		Gifts	Coffee Grinder	509200	40977	511842	41297
20			Coffee Pot	590780	46185	579349	45404
21			Mug	1144211	91497	1170314	90540
22			Thermos	604098	48870	615247	49767
23	Southeast	Coffee	Capuccino	944000	73264	956661	75353
24			Espresso	859572	68030	849485	66785
25			Latte	2617636	209654	2625303	213555
26		Food	Biscotti	1505717	119594	1512019	120549
27			Croissant	1902353	156456	1969306	157148
28			Scone	900655	73779	927363	73812
29		Gifts	Coffee Grinder	605777	47083	569585	46784
30			Coffee Pot	645303	49922	654579	50637
31			Mug	1102703	88474	1124345	89371
32			Thermos	632457	49376	618745	49253
33	West	Coffee	Capuccino	895495	71168	877304	70585
34			Espresso	907617	71675	923941	72927
35			Latte	2670405	213920	2722710	215272
36		Food	Biscotti	863868	70436	861804	67780
37			Croissant	2425601	197022	2406554	195329
38			Scone	912868	72776	914886	72252
39		Gifts	Coffee Grinder	603436	48081	571316	47397
40			Coffee Pot	613624	47432	630196	49208
41			Mug	1188664	93881	1156976	93629
42			Thermos	571368	45648	575818	46402
43	合計			46156290	3688991	46220778	3694494
44							
45							
46							

集約ページのコンテナでの Analytic Document オプション

WebFOCUS DESIGNER で AHTML 出力フォーマットを使用して作成された Analytic Document のグラフおよびレポートでは、実行時に一連のインタラクティブオプションを使用して、コンテンツで使用されるデータの表示を変更することができます。たとえば、Analytic Document では、グラフタイプの変更、コンテンツ項目のエクスポート、オンデマンドのコンテンツのフィルタ設定などが行えます。

既存コンテンツから作成したページに Analytic Document 項目を追加すると、[オプション] メニューに自動的に表示されるコマンドがページ上のコンテナに統合されます。これにより、Analytic Document コンテンツを含むパネルで簡素化された直観的なユーザインターフェースが使用でき、グラフやレポートで AHTML 出力フォーマットを使用して、追加の実行時オプションをページに簡単に組み込むことができます。下図は、ベーシックパネルコンテナの Analytic Document グラフ実行時の [オプション] メニューを示しています。



Analytic Document レポートの [オプション] メニューからは、次のメニュー項目が使用できます。

- ❑ **新規作成** レポートキャンバスを起動し、元のレポートのフィールドをさまざまなバケットに配置して新しいコンポーネントを作成できます。
- ❑ **エクスポート** レポート内のデータを Excel スプレッドシートまたは CSV ファイルとしてエクスポートしたり、レポートの現在の状態を.html ファイルとして保存したりできます。
- ❑ **印刷** レポートのイメージを印刷できます。
- ❑ **変更の保存** Analytic Document レポートを現在のフォームで HTML ファイルとして保存します。
- ❑ **元に戻す** レポートを元のフォームに戻します。

また、Analytic Document グラフでは、次のメニュー項目が使用できます。

- ❑ **新規作成** グラフキャンバスを起動し、元のグラフのフィールドをさまざまなバケットに配置して新しいコンポーネントを作成できます。
- ❑ **編集** 編集可能なキャンバスでグラフを開きます。
- ❑ **複製の作成** Analytic Document のオプションを使用して編集可能な元のグラフの複製を作成します。
- ❑ **エクスポート** グラフ内のデータを Excel スプレッドシートまたは CSV ファイルとしてエクスポートしたり、グラフのイメージを .png ファイルとして保存したりできます。
- ❑ **印刷** グラフのイメージを印刷できます。
- ❑ **変更の保存** Analytic Document グラフを現在のフォームで HTML ファイルとして保存します。
- ❑ **元に戻す** グラフを元のフォームに戻します。

注意：[オプション] メニューは、Analytic Document の DESIGNER スタイルバージョン (デフォルト設定) を使用する場合のみ表示されます。InfoAssist で作成したコンテンツでのみ使用可能な Analytic Document のレガシーバージョンを使用する場合は、[オプション] メニューがコンテンツツールバーに表示されません。

垂直グリッドでのフィルタコントロールの表示

WebFOCUS DESIGNER の既存コンテンツで作成したページに動的パラメータフィルタを含むコンテンツを追加すると、そのコンテンツのフィルタコントロールをページに追加するプロンプトメッセージが自動的に表示されます。デフォルト設定では、これらのフィルタコントロールは、ページツールバーのすぐ下の水平フィルタグリッドに複数行に分割されて配置されます。別の方法として、フィルタグリッドをページツールバー上部の開閉可能なモーダルウィンドウ、またはページの左側に表示されるスクロール可能な垂直グリッドに移動することができます。

垂直フィルタグリッドは、フィルタコントロールの数が非常に多く、横方向レイアウトでは複数行を使用し、ページ上の広い領域を占有する場合に、非常に便利なオプションです。これらのコントロールに垂直グリッドを使用することで、ページの左側にある小さな固定領域内の単一列にコントロールが配置され、スクロールバーを使用してコントロール間を移動することができます。下図は、垂直フィルタグリッドを含む基本ページを示しています。

ページ見出し



垂直フィルタグリッドを使用するには、集約ページへのフィルタコントロールの追加前または後に、キャンバスのページツールバーをクリックしてページ全体を選択し、プロパティパネルの [設定] タブの [左位置] をクリックします。フィルタグリッドの位置を設定するには、[ページフィルタを含める] のチェックをオンにしておく必要があります。

デザイン時にセルを右クリックし、[行を上挿入] または [行を下挿入] をクリックすると、垂直フィルタグリッドに新しいセルを追加できます。さらに、セルに [実行] および [リセット] ボタン、テキストラベル、または割り当て済みでないパラメータのフィルタコントロールをセルに追加できます。ページの実行時には、フィルタグリッドの端にマウスポインタを置き、左右にドラッグすることで、必要に応じてフィルタグリッドの幅を調整できます。

データフロー間でのオブジェクトのコピーおよび貼り付け機能

Data Migrator デスクトップインタフェースのワークスペースのキャンバスでフローを開くと、既存のフローから 1 つまたは複数のオブジェクトをコピーして別のフローに貼り付けることができます。コピーと貼り付け機能は、複数のフロー間でコード (例、SET 変数、Selects on Source) などのオブジェクトを再利用する場合に便利です。この機能はエラーが発生しにくいいため、多くのフローの設計で時間を節約できます。

注意：このコピーと貼り付け機能は、Reporting Server ブラウザインタフェースでも使用できます。

データフローのパフォーマンス強化

下図のように、通常のデータフロー、ダイレクトロードフロー、DBMS フローの [ターゲットロードオプション] プロパティに、新しい [パーティション] オプションが追加されました。この機能を使用すると、自動ビン検出でデータを分割でき、データフローのパフォーマンスが向上します。[パーティション] オプションは、最適化されたフローでのみ使用できます。

属性	値
全般	
表示名	uriage2
メモ	
ターゲットオプション	
タイプ	既存
アダプタ	Oracle
接続	
シノニム	uriage2
テーブル	
ロード前オプション	変更なし
ターゲットロードオプション	
* ロードタイプ	挿入/更新
レコードが存在する場合	重複行を挿入する
レコードが存在しない場合	重複行を挿入する
パーティション	No

パーティション
 入力データをビンに分割し、複数のビンを並行ロードします。
 注意: パフォーマンス向上の度合いは、使用可能なシステムリソースと現在のワークロードによって異なります。[データサービス] プロパティの [Queuing] を [on] にする必要があります。

すべてのビンにはほぼ同じ行数が含まれます。元のリクエストは複数のリクエストに分割され、各リクエストは特定のビンに対してのみデータを読み込みます。このように生成されたリクエストは同時実行されるため、より効率的で高速なリクエストが実行できます。

クラウド環境での ESRI 認証方法

ESRI ArcGIS アダプタに新しい認証文字列 `wappurl` が追加されました。ESRI ArcGIS アダプタは、ESRI ArcGIS Online 環境またはローカルホスト ArcGIS サーバに存在する情報からレポートを作成する際に使用します。`wappurl` 文字列は、[トークンの生成] セキュリティ方法を使用するクライアントアプリケーションのベース URL です。これは、NAMED 認証と基本的に同じであり、クラウド環境で必要です。

REST API を使用した Google Mail アダプタ

新しい Google Mail (Gmail) アダプタでは、Google が提供する無料 Email サービスである Gmail で作業することができます。これには、認可機能とアカウントセキュリティオプションが含まれます。Gmail には、Web ブラウザや公式モバイルアプリでアクセスできます。Google は POP および IMAP プロトコルで Email クライアントの使用をサポートしています。

Google Mail アダプタには、アクセストークンとリフレッシュトークンを保存する接続が必要です。Google Mail API コールを発行するには、有効なアクセストークンとリフレッシュトークンが必要です。これらのトークンは、Google アプリケーションと特定の Google ユーザに関連付けられます。

新しい Apache Parquet アダプタ

Apache Parquet アダプタを使用することで、アプリケーションは、さまざまなデータソースに格納された Apache Parquet ファイルのデータにアクセスできます。アダプタは、Apache Parquet カラムストアからのレポート生成に使用され、分析パフォーマンスを向上させるとともにデータアクセスに要する時間を短縮することができます。また、大規模で複雑なデータセットに最適化されています。このアダプタには、読み取り/書き込み機能があり、アプリケーションからカラムストアにデータを挿入することができます。

SharePoint でのサイトアクセス制限のサポート

Microsoft Graph サイトのアクセス許可では、アプリケーションに対して [Sites.Selected] 権限が使用できるようになりました。アプリケーションに対してこのアクセス権限を選択すると、デフォルト設定で、アプリケーションによる SharePoint サイトコレクションへのアクセスが許可されません。特定のサイトコレクションへのアプリケーションのアクセス許可は、管理者により与えられます。この変更により、ユーザは、クラウド環境からオンプレミスの SharePoint に接続できるようになります。

gzip 解凍での C ベース機能の使用

バージョン 9.0.0 では、Google BigQuery アダプタおよび REST アダプタの gzip 解凍に、C ベースの機能が使用されます。以前のバージョンでは、gzip 解凍に Java ベースの機能が使用されています。

修正済み問題

- ❑ ReportCaster ログおよびコンソールサービスの REST コールでは、HTTP 500 内部サービスエラーメッセージを受信します。(02057711)
- ❑ テキストエディタに表示される半角カタカナ文字にカーソルが正しく配置されるようになりました。(02034777)
- ❑ バージョン 8.2.07.28 で不備が発生したブロードキャストパラメータ機能が修復されました。(02054469)
- ❑ JSChart の円グラフで、otherSliceDrillDown 操作が再度サポートされるようになりました。(02058793)
- ❑ KPI Trend および Sparkline2 グラフ拡張機能に基づくグラフのツールヒントには、完全な値ではなく、四捨五入された値がドルで表示できるようになりました。(02030122)
- ❑ Google Chrome ブラウザで、Arc Gauge グラフの見出しが表示されない問題が修正されました。(02029579)
- ❑ 最後の縦軸フィールド名の値が、マトリックス列を使用するように構成されたバブルグラフに表示されない問題が修正されました。(02028994)
- ❑ マトリックスグラフでデータラベルを有効にすると、マーカーを円に設定した場合にデータ値が正しく出力されない問題が修正されました。(02028914)
- ❑ SQL FETCH FIRST 句は、IF READLIMIT ステートメントに変換されなくなりました。(02030241)
- ❑ Data Migrator コンソールでは、MFC (Microsoft Foundation Class) によるグラフィックスデバイスインターフェース (GDI) リークの問題が修正されました。(02048874)
- ❑ Data Migrator は、EXL07 出力フォーマットをサポートします。(02034587)
- ❑ Data Migrator Console のテキストエディタリボンタブの HBITMAP リークの問題が修正されました。(02048874)
- ❑ Data Migrator コンソールの GDI リークの問題が修正されました。(02048874)

- ❑ Data Migrator のセッションが、散発的に中断される問題が修正されました。(02048874)
- ❑ [キーフィールドの継承元] 設定の値が変更された際に、[ロードオプション] タブの [読み込み] および [キャンセル] ボタンが非表示になる問題が修正されました。(02046395)
- ❑ WebFOCUS DESIGNER の JOIN エディタで、編集リンクが選択され、DBA が使用されている場合に、FOC14010 および FOC205 エラーが発生しなくなりました。(02030901)
- ❑ 外部プロバイダによって作成された Parquet ファイルがサポートされるようになりました。(02062763)
- ❑ GIT アダプタに、ステージ、コミット、およびプッシュ操作に対して複数の個別のファイルを選択する機能が追加されました。(02042128)
- ❑ SUM ステートメントの異なるセグメントフィールドで中間合計 SUM を使用した場合に、0 NUMBER OF RECORDS IN TABLE エラーメッセージが表示されなくなりました。(02034238)
- ❑ MSODBC シノニムでのデータプロファイル → 統計コマンドの使用で、オーバフローエラーメッセージが表示されなくなりました。(02033689)
- ❑ Calabrio RESTful API アダプタは、WebFOCUS REST アダプタと互換性があります。(02031188)
- ❑ 名前に引用符を含む ("TEST"TABLE") Db2 テーブルを作成した場合に、WebFOCUS から "(FOC1500) : [42603] String constant beginning " T1 FOR" not delimited." エラーメッセージが返されなくなりました。(02032153)
- ❑ CVE-2021-45046 - Log4j RCE 0-day mitigation の問題に対応するため、Apache Log4j2 Zero-Day をバージョン 2.16.0 にアップグレードしました。(02070506、02070556、02070573、02070593、02070668、02070380、02070828、02071227、02070383)
- ❑ 「新しいパスワードが一致しません」 および 「ユーザ ID またはパスワードが無効です」 のメッセージが、カスタムログインページで重なり合って表示されなくなりました。(02041301)
- ❑ ソース管理のコミットとプッシュ操作では、不正な SCM 認証情報エラーが自動的に返されません。(02065958)
- ❑ 1 つの Email アドレスでエラーが発生した場合、すべてのリストメンバーに対する Email レポート配信が失敗する問題が修正されました。(02051278)

- ❑ [リポジトリプロシジャのダイナミック配信リスト] オプションを使用する ReportCaster の Email 配信スケジュールで、(FOC295) A VALUE IS MISSING FOR: &FOCURL エラーメッセージが発生しなくなりました。(02037205)
- ❑ FIND 句を使用したパラメータを含むプロシジャで、ユーザが配信スケジュールを保存できない問題が修正されました。(02032979)
- ❑ ジョブ通知プラグインを使用する場合、ワーカロード分散により、特定のスケジュールに対して複数のジョブ ID がトリガされる問題が修正されました。(02033880)
- ❑ WebFOCUS DESIGNER の [新規ページの作成] ページで表示した場合、複数のフィルタ値を含むグラフと、検索および選択コントロールのオプションでページ見出しが表示できなくなり、フィルタダイアログボックスでグラフ表示が隠れる問題が修正されました。(02064248)
- ❑ [ワークスペース] のリストビューで、[カラムの選択] オプション下に [名前] 列が表示されない問題が修正されました。(02072797)
- ❑ パネル幅が自動または最大に設定されている場合、ポータルレベル 2 ナビゲーション/サイドバーナビゲーションの展開アイコンが表示されません。(02032434)
- ❑ レポートのオートプロンプトページが非常に高さのあるフレーム内に読み込まれると、コントロールのいずれかにページング機能の使用が可能な値が含まれる場合に、そのコントロールのポップアップが画面上ですぐに確認できる位置に表示されない問題が修正されました。(02043006)
- ❑ WebFOCUS DESIGNER では、ユーザが選択したサブフォルダで使用可能なデータソースの表示が制限されるようになりました。(02057415)
- ❑ ようこそページのプラス (+) メニューがカスタマイズ可能になりました。(02052105)
- ❑ アプリケーション開発者は、ポータル内で使用可能なメニューオプションのリストをカスタマイズできます。(02033332、02030282)
- ❑ プロシジャまたはフォルダのタイトルの名前変更後に、[ワークスペース] エリアのリストビューに列が表示されない問題が修正されました。(02030067)
- ❑ WebFOCUS DESIGNER でレポートに条件付きスタイルを適用すると、ドリルダウンが設定されません。(02057211)
- ❑ Ubuntu 20.04 および Kernel 5.11 がインストールされている場合、DSML のインストールが失敗する問題が修正されました。(02054089、02056042、02063756)
- ❑ WebFOCUS Reporting Server のインストールウィザードのパラメータの確認ページで [戻る] ボタンを押しても、前のページに戻らない問題が修正されました。(02045740)

- ❑ バージョン 8.2.07.28 へのアップグレード後、ドリルダウングラフのタブおよびアコーディオンコンテナは、ドリルリフレッシュの実行後もフォーカスを維持します。(02058142)
- ❑ ブックマークの構成で定義されたフィルタ選択が、複数のポータルページに適用されない問題が修正されました。(02033688)
- ❑ 保存済みのブックマーク構成に含まれるフィルタが 1 つのコンテナで再ロードされると、これらのフィルタが、開いている別のコンテナに複製される問題が修正されました。(02067596)
- ❑ 同じ変数名を含む 2 つのページを格納するポータルで、パラメータプロンプトが失敗する問題が修正されました。(02053254、02067587、02058721)
- ❑ ユーザは、2 バイト文字セットデータを含むビジュアライゼーションを実行および保存できます。(02054287)
- ❑ ドロップダウンでは、集約ページのフィルタ連鎖で日付を選択後に値が読み込まれません。(02053584)
- ❑ [グローバル名] プロパティは、ポータル内のページ間で機能しません。(02034144)
- ❑ 外部プロシジャの値が入力されたコントロールのエントリを並べ替えることができません。(02052827、02030285、02029400)
- ❑ focexec に小文字と大文字の両方の名前が含まれている場合、エクスポートは正しく実行されません。(02034720)
- ❑ リストボックスコントロールを使用して HTML ファイルを実行すると、「デフォルト値が存在しない未解決のパラメータがあります」という警告メッセージが表示されます。(02074829)
- ❑ ポータルが Chrome で読み込まれず、「Reference Error loading HTML page」というエラーメッセージが表示されます。(02060953)
- ❑ WebFOCUS App Studio では、カレンダーコントロールのクリア時に例外が発生します。(02074356)
- ❑ WebFOCUS App Studio の編集ボックスが、リセットボタンを押してもリセットされません。(02066344)
- ❑ ダブルリストコントロールでフィールドをダブルクリックしてボックスに移動しても、フィールドの選択が保持されます。(02071905、02072762)
- ❑ WebFOCUS App Studio のカレンダーコントロールに特定の値を入力できません。(02063335)

- ❑ WebFOCUS App Studio で連鎖を実行すると、データの取得に長い時間を要します。(02063103)
- ❑ WebFOCUS App Studio の連鎖コンポーザリストボックスは、Apple 環境では動作しません。(02066106)
- ❑ -REMOTE BEGIN でレポートを実行すると、WebFOCUS App Studio で開いた際に、レポートから FOC205 エラーが返されます。(02040374)
- ❑ WebFOCUS App Studio では、ドロップダウンリストの幅を変更後、スクロールするとリストの位置が変わります。(02066946)
- ❑ 以前のバージョンから WebFOCUS App Studio バージョン 8.2.07.28 へのアップグレードで、レスポンスページに広いブランク領域が表示されます。(02065613)
- ❑ BI Portal で HTML フィルタページを使用すると、「Uncaught TypeError: Cannot read properties of undefined (reading 'top')」というエラーが発生します。(02060372)
- ❑ WebFOCUS App Studio のアップグレード後、HTML ページが表示されず、スクリプトエラーが発生します。(02057673)
- ❑ WebFOCUS App Studio では、アンパサンド (&) が値に含まれる場合、複数選択のドロップダウンパラメータが正しく表示されません。(02062039)
- ❑ WebFOCUS App Studio でページ/検索コントロールの幅を変更できません。(02059220)
- ❑ ポップアップスタイルコントロールを拡大後、コントロールの幅が WebFOCUS App Studio のドロップダウンの幅と同一になりません。(02033681)
- ❑ WebFOCUS App Studio で、フォントのスタイル設定がカレンダーコントロールに適用されません。(02059168)
- ❑ WebFOCUS App Studio で、リセット後にポップアップスタイルコントロールとページ/検索コントロール範囲が表示されません。(02055273)
- ❑ WebFOCUS App Studio でダブルリストコントロールを使用する場合、ポップアップスタイルとリセットボタンが重なり合って表示されます。(02013223、02013224、02029323)
- ❑ WebFOCUS App Studio では、他の focexec ファイルを呼び出す HTML ページからパラメータが正しく渡されません。(02057122、02056364)
- ❑ WebFOCUS App Studio を最新のブラウザで表示した場合、GroupBox コンポーネントが異なる表示になります。(02056682)

- ❑ WebFOCUS App Studio で、保存済みパラメータを同一名で保存する際に、上書きを求めるプロンプトメッセージが表示されません。(02052989)
- ❑ WebFOCUS App Studio で、初回実行時に、HTML チェックボックスに予期される値が表示されます。(02054893)
- ❑ HTML ページに WebFOCUS App Studio のマップが表示されている場合に、[ロード画面] が引き続き表示されます。(02051784)
- ❑ WebFOCUS App Studio でコントロールが連鎖されている場合、ページ/検索コントロールには正しくない範囲が表示されます。(02054085、02060168)
- ❑ ユーザは、WebFOCUS App Studio で、コピーしたパネルにコントロールを追加することができません。(02047403)
- ❑ WebFOCUS App Studio は、カスタム CSS を含むプロシージャのロード時にフリーズします。(02045089)
- ❑ WebFOCUS App Studio でのマップの選択に基づくリクエストの更新では、複数のパラメータが取得されません。(02054164、02067477)
- ❑ WebFOCUS App Studio では、[すべてリフレッシュ] により外部 CSS プロパティが削除されます。(02043478)
- ❑ WebFOCUS App Studio で、HTML ページの言語を変更できません。(02039171)
- ❑ WebFOCUS App Studio のページ/検索コントロールで、リセット後に検索入力値が削除されません。(02036115)
- ❑ WebFOCUS App Studio で複数選択に設定したドロップダウンコントロールで、選択した値の代わりに [選択してください] が選択されます。(02031836)
- ❑ 一時項目 (DEFINE) が、focexec の保存時に移動され、保存済みの Focexec を編集する際に「フィールドが見つかりません」というエラーが発生します。(02078815)
- ❑ InfoAssist で、既存のレポートを開く際に、一部のフィールドを見つけることができません。(02067039)
- ❑ InfoAssist で [値 1 から値 2] フィルタを作成する場合、日付関数オプションを選択できません。(02061920、02054380)
- ❑ 2 部構成のファイル名設定が無効になっている場合、一時項目 (DEFINE) がクエリパネルに表示されません。(02055743、02053855)

- ❑ InfoAssist の JOIN フィールドが、[データ] ウィンドウに表示されません。(02050826、02052882)
- ❑ HOLD ファイルを作成してプロシジャを編集すると、ページが応答しなくなったり、エラーが発生したりします。(02037161)
- ❑ 2 部構成のファイル名設定が無効になっている場合、JOIN の後にフィールドがクエリパネルに表示されません。(02044569、02066022)
- ❑ 2 つの一時項目 (DEFINE) に同一名が含まれる場合、InfoAssist が停止します。(02045005)
- ❑ 2 つの HOLD ファイルに、一時項目 (COMPUTE) を追加するよう編集された JOIN が含まれる場合、InfoAssist が停止します。(02044094)
- ❑ InfoAssist で、ROWLIMIT を含むカスタムスタイルシートを挿入すると、「invalid or unknown style id: ROWLIMIT」というエラーが発生します。(02041098)
- ❑ HOLD ファイルから PNG または HTML フォーマットで作成した場合、グラフを編集できません。(02034803)
- ❑ ユーザは、Developer Workbench で保存された SQL レポートを実行できません。(02034977)
- ❑ 2 つの HOLD ファイルを作成し、ドキュメントを編集すると、InfoAssist が停止します。(02034676)
- ❑ ドキュメントから HOLD ファイルを削除すると、レイアウトから標準レポート表示に戻ります。(02033503)
- ❑ InfoAssist で 1 つ目のフィルタが [パラメータ] に設定されると、欠落している演算子やその他の演算子はリストフィルタに含まれません。(02030374)
- ❑ Db2 リポジトリのファイル名に特殊文字が存在する場合、内部例外エラーが発生します。(02031088)
- ❑ InfoAssist のフィルタで、定数値を大文字の ON に設定するとエラーが発生します。(02031657)
- ❑ グラフでドリルダウンの [定数] パラメータが、復元後に [フィールド] に変更されます。(02029713、02034098)
- ❑ HYYMDS 日付定数フィルタに値を入力すると、エラーが発生します。(02030590、02042404、02058512、02054744)
- ❑ HOLD ファイルの名前を [マスターファイルの説明] と同一にすると、HOLD コンテンツが表示されません。(02030203)

- ❑ [定数] フィルタタイプでは、[値の取得] からすべての値が表示されません。(02028965、02031506)
- ❑ バージョン 8.2.07.28.05 へのアップグレード後、リストビューにファイル名を表示するオプションがありません。(02072797、02074284)
- ❑ focexec のメニューを右クリックすると、WebFOCUS ユーザインターフェースに 3 つの項目しか表示されません。(02068151)
- ❑ [お気に入り] からレポートを削除しても削除されず、2 度目に削除するとエラーが発生します。(02069614)
- ❑ ユーザがリストビューを選択した場合、[最近の更新] または [お気に入り] ビューで [レポートタイトル] の一部が表示されません。(02044604)
- ❑ ユーザに対して特定の権限を選択すると、グラフのアクションバーが表示されます。(02035083)
- ❑ Advanced Users が、Client のメニューから WebFOCUS サーバにアクセスできません。(02034377)
- ❑ ポータルの長いワークスペースツリーで、矢印キーを使用して最上部または最下部にスクロールできません。(02030724)
- ❑ WebFOCUS DESIGNER 権限を持たないユーザが、[データの取得] にアクセスできます。(02030556)
- ❑ 重複ファイルの XHR レスポンスには、ファイルのフルパスが含まれません。(02029995)
- ❑ WebFOCUS DESIGNER で、ESRI マップのサイズを変更するとレイヤが削除されます。(02061367)
- ❑ ESRI マップコントロールを翻訳できません。(02049366)
- ❑ WebFOCUS をバージョン 8.2.07.28.06 にアップグレード後、他のユーザの複数の [マイコンテンツ] フォルダが表示されます。(02075698、02076109、02075933、02076190、02076226、02076762、02076822、02076542、02076858、02077109、02077112、02077313、02077418、02077423、02077546、02077747、02077671、02076161、02081503)
- ❑ インドネシア語 (IBIWF_language) が、WebFOCUS Reporting Server に設定されていません。(02059063)
- ❑ /CreateLangRes.sh ユーティリティを使用して新しい言語を追加すると、エラーが発生します。(02057886)

- ❑ リリース 8.2.07 から oracle リポジトリの 8.2.07 への db_replicate の実行でエラーが発生します。(02048852、02055124)
- ❑ UOA_CACHECOMS は貴重なリソースを使用して 1 日に何回も実行されます。(02034347)
- ❑ WebFOCUS デザインページに追加すると、WHERE フィルタの降順は無視されます。(02050830、02054389、02064690)
- ❑ ROWLIMIT コマンドを含むカスタムスタイルシートを挿入すると、「unknown error message(IA_210805_223710-1)」というエラーが発生します。(02041098)
- ❑ WRAP と SQUEEZE が無効の場合、正しい表示ができません。(02040073)
- ❑ エスケープ文字が、単一引用符を含む変数のレポート見出しに表示されます。(02051954)
- ❑ スタイルシートで WHEN が使用されると、Active Report でエージェントクラッシュが発生します。(02030962)
- ❑ [SQL トレース付き実行] がレガシーホームページでのみ表示されます。(02078392)
- ❑ ページ/検索コントロールで検索ボタンをクリックすると、[次へ] と [最後] のアイコンが表示されません。(020765)
- ❑ App Studio で、プロシジャに XLSX フォーマットで -HTMLFORM が使用される場合、マルチバイト文字が文字化けします。(02034263)
- ❑ 2 つの ACROSS COMPUTE フィールドのいずれかでタイトルを変更すると、レポートキャンバス上で両方のフィールドが影響を受けます。(02030854)
- ❑ プレミアム ESRI 人口統計レイヤが MLM ビューアに追加されました。(02030867)

アップグレードに関する注意事項

- ❑ バージョン 8.2.06 または 8.2.07 から App Studio バージョン 9.0.0 へのアップグレードはサポートされていません。これらのアップグレードは、今後のリリースでサポートされる予定です。
- ❑ WebFOCUS または WebFOCUS 統合インストールのアップグレード後、[ibi-protected] フォルダは [backup_files] ディレクトリから復元されません。[ibi-protected] フォルダは非常に大きい場合があり、コピー段階でインストールプログラムが応答を停止する可能性があるため、このフォルダは復元されないよう設計されています。必要に応じて、[ibi-protected] ディレクトリを [backup_files] フォルダから手動で復元できます。

ディレクトリのコピー後に、次の手順を実行します。

- ❑ **Windows の場合** `drive:¥ibi¥install_directory¥features¥search¥solr¥ibi-protected¥conf` から `managed_schema` ファイルを `drive:¥ibi¥install_directory¥Solr¥solr¥server¥solr¥ibi-protected¥conf` にコピーします。この場合、`install_directory` は、WebFOCUS のインストール先のディレクトリです。
- ❑ **UNIX の場合** `../ibi/install_directory/features/search/solr/ibi-protected/conf` から `managed_schema` ファイルを `../ibi/install_directory/Solr/solr/server/solr/ibi-protected/conf` にコピーします。この場合、`install_directory` は、WebFOCUS のインストール先のディレクトリです。
- ❑ **統合インストールの場合** `drive:¥ibi¥install_directory¥WebFOCUS¥features¥search¥solr¥ibi-protected¥conf` から `managed_schema` ファイルを `drive:¥ibi¥install_directory¥Solr¥solr¥server¥solr¥ibi-protected¥conf` にコピーします。この場合、`install_directory` は、WebFOCUS のインストール先のディレクトリです。
- ❑ バージョン 9.0.0 では、WebFOCUS DESIGNER でのグラフおよびレポート作成で、[コンテナの追加] オプションが削除されました。グラフまたはレポートをページに変換する場合は、[ページに変換] オプションのみが使用できます。一方、ページキャンバスを使用する場合は、[コンテナの追加] オプションが引き続き使用できます。

グラフまたはレポートをページに変換し、2 つ目の項目を追加するには、[ページに変換] をクリックし、次に [コンテナの追加] をクリックして [コンテナ] タブから別のコンテナを追加するか、フィールドリストからページのブランク領域にフィールドをドラッグします。
- ❑ バージョン 9.0.0 では、App Studio は新規インストールのみをサポートしています。以前のバージョンからのアップグレードはサポートされていません。そのため、App Studio の設定は、バージョン 9.0.0 のインストールで再適用する必要があります。バージョン 9.0.1 ではアップグレードがサポートされる予定です。

ESRI 人口統計レイヤの廃止と追加

2021 年 12 月時点で、ESRI は、デフォルト設定の WebFOCUS インストールの一部として構成される特定の人口統計マップレイヤのサポートを終了しました。今回廃止された人口統計レイヤは次のとおりです。

- ❑ アメリカ合衆国年齢中央値 2017
- ❑ アメリカ合衆国人口密度 2017
- ❑ アメリカ合衆国人口増加 2017-2022

❑ アメリカ合衆国失業率 2017

今回追加された人口統計レイヤは次のとおりです。

- ❑ ACS 世帯サイズ変数 - 境界
- ❑ ACS 住戸占有率変数 - 境界
- ❑ ACS インターネット接続変数
- ❑ ACS 年齢変数別 労働力人口
- ❑ ACS 年齢変数中央値
- ❑ ACS 世帯収入中央値変数 - 境界
- ❑ ACS 車両保有台数変数
- ❑ アメリカ合衆国タペストリセグメンテーション 2021
- ❑ 2021 アメリカ合衆国年齢中央値
- ❑ 2021 アメリカ合衆国住宅価格中央値
- ❑ 2021 アメリカ合衆国世帯収入中央値
- ❑ 2021 アメリカ合衆国人口密度
- ❑ 2021 アメリカ合衆国失業率
- ❑ 2021-2026 アメリカ合衆国人口増加

廃止されたレイヤについての詳細は、「<https://www.esri.com/arcgis-blog/products/esri-demographics/announcements/u-s-and-canada-2017-demographic-maps-to-be-retired/>」を参照してください。

既知の問題

- ❑ WebFOCUS で、すべての未分類レポートに対するマーキングソリューション (識別表示) が必要です。(02030206)
- ❑ NFR ポータルのサブフォルダが、ポータル実行時に表示されません。(02051677)

- ❑ WebFOCUS バージョン 9.0.0 USS Reporting Server の z/OS インストールは、EDAHOME/EDACONF のディレクトリ名の設定に使用される値が無効な名前を生成するため失敗します。この問題を回避するため、ireadme.txt ファイルに記載されている手順に、バージョン番号を変更する手順を追加します。追加する手順は、以下の手順 1 と 2 の間です。

1. HOME.DATA をダウンロードします。

HOME.DATA (IWAYREL) を編集し、2 行目を以下のように更新します。

```
uss,9.,/pgm/edaport4/M729000D/tape
```

次のように変更します。

```
uss,90,/pgm/edaport4/M729000D/tape
```

2. HOME.DATA(ISETUP) から ISETUP インストールを開始します。

ブラウザ情報

このバージョンは、Google Chrome バージョン 92、Firefox バージョン 90、Microsoft Edge Chromium バージョン 92 (WebFOCUS のみ)、Microsoft Edge バージョン 44 (WebFOCUS のみ) でテスト済みかつ動作保証されています。Internet Explorer 互換モードはサポートされません。

2

リリース情報

TIBCO WebFOCUS バージョン 9.0.0 の関連情報は、各トピックから参照できます。

トピックス

- ❑ [ブラウザ情報](#)
- ❑ [TIBCO WebFOCUS のアクセシビリティ準拠](#)
- ❑ [TIBCO WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム](#)
- ❑ [TIBCO WebFOCUS での Java Platform、Standard Edition \(Java SE\) のサポート](#)
- ❑ [サポート対象の Web サーバおよび Application Server](#)
- ❑ [サポート対象の RDBMS およびドライバ](#)
- ❑ [ローカリゼーション \(NLV\) および NLS の制限事項](#)
- ❑ [TIBCO WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート](#)

ブラウザ情報

ここでは、WebFOCUS バージョン 9.0.0 で使用可能な Web ブラウザについて説明します。

- ❑ 弊社では、ブラウザベンダーのサポートポリシーを評価し、最新バージョンが使用可能になり次第、随時新しいブラウザバージョンを動作保証します。
- ❑ 以下のブラウザベンダー使用要件を参照して、最新の Web ベース機能を提供する Web 標準がサポートされ、セキュリティの保証されたブラウザを使用することをお勧めします。

サポート対象の Web ブラウザ

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft Edge (WebFOCUS のみ)
9.0.0	バージョン 98	バージョン 96	バージョン 98
8.2.07.27	バージョン 92	バージョン 90	バージョン 92 (WebFOCUS)

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft Edge (WebFOCUS のみ)
8.2.07.27	バージョン 89	バージョン 86	バージョン 89 (WebFOCUS)
8207.26	バージョン 88	バージョン 85	バージョン 87 (WebFOCUS)
8207.25	バージョン 87	バージョン 84	バージョン 87 (WebFOCUS)
8207.24	バージョン 87	バージョン 83	バージョン 87 (WebFOCUS)
8.2.07.23	バージョン 87	バージョン 83	バージョン 86 (WebFOCUS)
8.2.07.22	バージョン 87	バージョン 82	バージョン 86 (WebFOCUS)
8.2.07.21、 8.2.07.20、 8.2.07.19	バージョン 86	バージョン 81	バージョン 85 (WebFOCUS)
8.2.07.18、 8.2.07.17	バージョン 85	バージョン 80	バージョン 85 (WebFOCUS)
8.2.07.16、 8.2.07.15	バージョン 84	バージョン 79	バージョン 83 (WebFOCUS)
8.2.07.14、 8.2.07.13、 8.2.07.12	バージョン 83	バージョン 77	バージョン 83 (WebFOCUS)
8.2.07.11	バージョン 83	バージョン 76	バージョン 81 (WebFOCUS)
8.2.07.10、 8.2.07.09	バージョン 81	バージョン 75	バージョン 81 (WebFOCUS)

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft Edge (WebFOCUS のみ)
8.2.07.08	バージョン 81	バージョン 75	バージョン 80 (WebFOCUS)
8.2.07.07	バージョン 80	バージョン 74	バージョン 80 (WebFOCUS)
8.2.07.06	バージョン 80	バージョン 73	バージョン 80 (WebFOCUS)
8.2.07.05	バージョン 80	バージョン 73	バージョン 44 (WebFOCUS)
8.2.07.04、 8.2.07.03、 8.2.07.02	バージョン 79	バージョン 73	バージョン 44 (WebFOCUS)
8.2.07.01	バージョン 78	バージョン 70	バージョン 44 (WebFOCUS)
8.2.07	バージョン 77	バージョン 69	バージョン 44 (WebFOCUS)

- ❑ バージョン 8.2.07.27.0 以降、TIBCO WebFOCUS の新しいリリースでは、Microsoft Internet Explorer 11 が動作保証済みブラウザとしてサポートされません。この変更は、2021 年 4 月 1 日より有効です。
- ❑ Internet Explorer 互換モードはサポートされません。
- ❑ Microsoft Edge ブラウザは、TIBCO WebFOCUS App Studio ではサポートされません。
- ❑ Firefox ブラウザバージョンサポートについての詳細は、Mozilla から公開されている次の Web サイトを参照してください。https://wiki.mozilla.org/Release_Management/ESR_Landing_Process
- ❑ WebFOCUS で作成した単純な HTML レポートは、任意のブラウザで表示することができます。

- ❑ 一部のブラウザバージョンで使用可能な組み込み PDF ビューアを使用する際に、ドリルダウンリンクが機能しません。ブラウザの構成情報を確認し、関連するコンテンツタイプのアプリケーションオプション設定を変更することで、ブラウザで自動的に Adobe Reader が起動するよう調整します。
- ❑ Acrobat Reader DC は動作保証されています。Adobe XI および Above X はサポートされています。
- ❑ 特定の状況下では、Microsoft Internet Explorer でページを表示する際に、Web ページで指定されたモードと異なるドキュメントモードでページが強制的に表示される場合があります。詳細は、「[Internet Explorer Browser Document Compatibility](#)」を参照してください。
- ❑ クライアントのブラウザに基づいてイメージ埋め込み機能を使用することにより、HTML レポート、DHTML レポート、DHTML 複合レポートでのイメージおよびグラフの表示がサポートされます。Microsoft Internet Explorer ブラウザで生成される出力、またはブラウザが不明な状況 (例、ReportCaster から配信されるレポート) では、Web アーカイブファイル (.mmt) を作成することでイメージが組み込まれます。その他すべてのブラウザでは、イメージは、生成される .html ファイル内で base64 エンコードされます。
- ❑ Windows 2012 R2 オペレーティングシステムで Microsoft Internet Explorer 11 を使用し、InfoAssist で作成したレポートやグラフなどのオブジェクトを実行すると、そのオブジェクトがターゲット先の特定のフレームで開く代わりに、Microsoft Internet Explorer 11 の新しいウィンドウで開きます。たとえば、InfoAssist で [新規ウィンドウ] を選択すると、新しいブラウザウィンドウが開き、実行中イメージが表示された後、そのページが出力結果で置き換えられます。Microsoft Internet Explorer 11 ではそのウィンドウを置き換えることができないため、代わりに新しいウィンドウが開きます。[このブラウザ制限は、管理者が修正することができます。](#)
- ❑ 特定のブラウザでは、独自の最大バイト数をツールヒントのテキストに適用するため、長いツールヒントは末尾が切り取られて表示される場合があります。たとえば、Microsoft Internet Explorer では、この最大バイト数は 512 バイトですが、Google Chrome では 1024 バイトです。

サポート対象のモバイルブラウザ

WebFOCUS バージョン	iOS バージョン	ブラウザ	WebFOCUS Mobile App バージョン
バージョン 9.0.0 以降	iOS バージョン 15	Safari	バージョン 4.0.4

WebFOCUS バージョン	iOS バージョン	ブラウザ	WebFOCUS Mobile App バージョン
バージョン 9.0.0 以降	iOS バージョン 15	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.0.0 以降	iOS バージョン 14	Safari	バージョン 4.0.4
バージョン 9.0.0 以降	iOS バージョン 14	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.0.0 以降	Android バージョン 11	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.0.0 以降	Android バージョン 10	Chrome	バージョン 4.0.4

TIBCO WebFOCUS のアクセシビリティ準拠

TIBCO Software Inc. は、障害あるユーザを含むすべてのユーザにアクセス可能で使いやすく、質の高い製品とサービスを提供します。

アクセシビリティのサポート基準

TIBCO Software Inc. は、次の基準に基づき WebFOCUS のアクセシビリティを確保します。

弊社のアジャイル開発プロセスは、[WCAG 2.1](#) レベル AA、[改定セクション 508](#)、および [欧州規格 EN 301 549](#) の標準およびガイドラインに沿ったアクセシビリティ評価を、設計、開発、テストのすべての段階で取り入れています。コーディングは、HTML、CSS、WAI-ARIA、JavaScript で W3C 標準に準拠しています。

TIBCO Software Inc. は、アクセシビリティ標準およびガイドラインに準拠したアプリケーションの作成が可能なソフトウェアツールを提供することで、顧客のアクセシビリティ目標達成に貢献します。各アプリケーションの実際のアクセシビリティ準拠は、TIBCO Software Inc. 社製ツールの適切な使用、および弊社ソフトウェアと相互運用する他社製ハードウェアおよびソフトウェアのアクセシビリティ準拠によって異なります。

サービスについて、TIBCO Software Inc. は、顧客と協調し、サービス契約に関するアクセシビリティ要件に取り組んでいます。TIBCO Software Inc. は、必要なアクセシビリティ標準およびガイドラインに準拠する適切な作業指示書で、顧客に対してアクセシビリティ要件を求めます。TIBCO Software Inc. は、顧客の要件に特化した COTS 製品のアクセシビリティ機能を提示し、提示された機能を使用して開発を進める前に顧客の承認を取得します。

適合ステータス

WebFOCUS バージョン 9.0.0 は、次のアクセシビリティ標準およびガイドラインに部分的に適合しています。部分的適合とは、コンテンツの一部がアクセシビリティ標準に完全に適合していないことを示します。

よびガイドライン	レポート内に記載
Web Content Accessibility Guidelines 2.0	レベル A レベル AA
Web Content Accessibility Guidelines 2.1	レベル A レベル AA
Revised Section 508 standards published 01/18/2017 and corrected 01/22/2018	
EN 301 549 Accessibility requirements suitable for publish procurement of ICT products and services in Europe - V3.1.1. (2019-11)	

アクセシビリティ機能の範囲

WebFOCUS バージョン 9.0.0 では、DESIGNER ページおよび WebFOCUS アクセシブルレポートを含む、アクセシビリティ機能を備えた WebFOCUS の 2 レベルトップナビゲーション V5 ポータルを作成、公開するためのツールとガイダンスを設計者に提供し、エンドユーザーによる独自の adhoc クエリおよびレポート作成の実行を可能にします。アクセシビリティ機能には、コンテンツ作成 (開発) および管理インターフェースは含まれません。

アクセシビリティ機能を備えた WebFOCUS レポートには、次のフォーマットがあります。

- ☐ Analytic Document (Active テクノロジ) - AHTML

- ❑ Excel - XLSX
- ❑ PowerPoint - PPTX
- ❑ HTML - 「[Technical Memo 4505](#) - WebFOCUS HTML レポートのアクセシビリティサポート」を参照

アクセシビリティ機能を備えた WebFOCUS レポートは、Web ページまたはアプリケーションから配信、実行できます。Web ページまたはアプリケーションのアクセシビリティ準拠については、設計者が責任を負います。

WebFOCUS バージョン 8.2.07.12 以前の 8.2.07 リリースでは、次の WebFOCUS アクセシビリティ準拠レポートフォーマットがサポートされます。

- ❑ HTML - 「[Technical Memo 4505](#) - WebFOCUS HTML レポートのアクセシビリティサポート」を参照

ブラウザ互換性および支援テクノロジー

テストは、さまざまなオペレーティングシステム、ブラウザ、テスト自動化ツール、スクリーンリーダーを使用して実行されました (例、Windows 10 オペレーティングシステム、Google Chrome ブラウザ、NVDA または JAWS 2020 スクリーンリーダー)。

Google Chrome、Firefox、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer ブラウザについては、ユーザのカスタマイズ、支援テクノロジーおよび他社製拡張機能との統合によりサポートレベルが異なります。

JAWS ブラウザ要件についての詳細は、[Freedom Scientific](#) の Web サイトを参照してください。

テクノロジー仕様

WebFOCUS のアクセシビリティは、次の技術に依存し、Web ブラウザおよび支援テクノロジー、またはユーザの PC にインストールされたプラグインとの特定の組み合わせにより機能します。

- ❑ HTML
- ❑ WAI-ARIA
- ❑ CSS
- ❑ JavaScript

上記のテクノロジーは、適用されるアクセシビリティ標準に準拠するために使用されます。

制限事項

WebFOCUS のアクセシビリティ機能を確実に利用できるよう万全を期していますが、一部に制限事項があることも考えられます。アクセシビリティ機能の使用に問題がある場合は、技術サポートに問い合わせてください。また、追加機能に対するアクセシビリティ準拠のリクエストについても、技術サポートに問い合わせてください。

既知の制限事項

- ❑ **アクセシビリティ機能** 機能の範囲は、上記の「適合ステータス」に記載されているとおりです。
- ❑ **非テキストコンテンツ、代替テキスト** WebFOCUS 8.2.07 は、コンテンツ作成者に代替テキストを追加する方法を提供し、このコンテンツはスクリーンリーダーで読み取られます。ただし、説明的代替テキストの提供は、コンテンツ作成者に委ねられます。
- ❑ **感覚的情報 (ビジュアライゼーション/グラフ)** アクセシビリティのベストプラクティス準拠は、コンテンツ作成者に委ねられますが、WebFOCUS 8.2.07 は、今後のリリースで、ビジュアライゼーションおよびグラフでの感覚的情報の伝達について、強化された代替方法を提供します。
- ❑ **リフロー** データテーブルは、テーブルとして動作し、リフローされません。
- ❑ **見出しおよびラベル** WebFOCUS 8.2.07 は、適切な見出しおよびラベルを追加する方法をコンテンツ作成者に提供し、このコンテンツは、スクリーンリーダーで読み取られます。ただし、ベストプラクティスの導入によるアクセシビリティの維持は、コンテンツ作成者に委ねられます。
- ❑ **一部の言語** 言語は、メタレベルでドキュメントに適用されます。
- ❑ **機能的遂行基準 (言語障害、認知障害、学習障害)** WebFOCUS 8.2.07 のデータテーブルは複雑であり、拡張機能を提供します。対象ユーザの機能上の要件を特定し、WebFOCUS レポートプロシジャ作成時にこれらの考慮事項を適用することは、コンテンツ作成者の責任です。
- ❑ **利用可能な操作の全般 (情報) リスト** V5 ポータル、DESIGNER ページ、Analytic Document (AHTML) では、利用可能な操作は「Ctrl+Shift+F10」を押すとアクセスできます。
- ❑ **変更通知** オンラインヘルプの今後のリリースで改善される予定です。
- ❑ **製品マニュアル** [オンラインヘルプ] セクションのアクセシビリティは、今後のリリースで改善され、利用可能になります。現在のバージョンでは、次のような問題が発生する可能性があります。
 - ❑ 拡大表示での判読性の低下

- ❑ 左側ウィンドウから右側ウィンドウへの移動困難
- ❑ 印刷メニューのポップアップが、Esc キーの使用またはポインタの移動でも閉じることができない

TIBCO WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム

下表は、WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステムを示しています。

ベンダー (プロセッサ/アーキテクチャ)	オペレーティングシステムバージョン
Microsoft Windows 64 ビット	Windows Server 2019
	Oracle Java 8 をマシンにインストールする必要があります。詳細は、製品のインストールマニュアルを参照してください。
	Windows Server 2016、2012 R2、2012
	Windows 10 (開発環境のみに限定)
IBM (pSeries 64)	AIX 7.2、AIX 7.1
Oracle (Sparc 64-bit)	Oracle Solaris 11
	Oracle Solaris 10
Oracle (x86)	Oracle Solaris 11
	Oracle Solaris 10
Red Hat (x86_64)	Enterprise Linux 6.1 / Kernel 2.6.32 - glibc-2.6 以降
	Enterprise Linux Kernel-3.10.0-glibc-2.17 以降
Red Hat (IBM Power Systems)	Enterprise Linux 6.1 / Kernel 2.6.32 - glibc-2.6 以降
Hewlett Packard (Itanium IA64)	HP-UX 11i (11.31)

TIBCO WebFOCUS での Java Platform、Standard Edition (Java SE) のサポート

ここでは、WebFOCUS および ReportCaster Web アプリケーションの展開先としてサポートされる各種 Java SE バージョンの WebFOCUS リリース情報について説明します。また、Java ソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、Web アプリケーションサーババージョンの Java バージョン要件を確認することも重要です。

注意事項

- ❑ Java SE の同一バージョンレベルでのメンテナンスアップデートもサポートされます。
- ❑ 新しい JDK バージョンと WebFOCUS の以前のバージョンとの使用はサポートされます。ただし、一部の問題を解決するために、新しいバージョンの WebFOCUS または JDK サービスパックへのアップグレードが必要になる場合があります。
- ❑ 新しい Java SE メジャーリリースのサポートには動作保証が必要なため、下表で明記されていない限り、現時点ではサポートされません。
- ❑ 「動作保証済み」と記述されている場合、指定された リリース QA (品質保証) の動作保証プロセスで、指定された Java バージョンがテストされたことを示します。

動作保証済みまたはサポート対象の Java バージョンで問題が発生した場合は、技術サポートに連絡してください。

WebFOCUS バージョン 9.0.0 では、WebFOCUS および ReportCaster Web アプリケーションの展開先 Application Server に適用される JVM バージョンの最低要件は、JVM バージョン 8 です。

Java SE バージョンの動作保証ステータス このバージョンでは、Oracle および OpenJDK の Java 8 および Java 11 バージョンが動作保証されています。

サポート対象の Web サーバおよび Application Server

ベンダーの Web サーバおよび Application Server	バージョン
Apache Software Foundation (Apache Tomcat)	9
Apache Software Foundation (Apache HTTP)	2.4 2.2

ベンダーの Web サーバおよび Application Server	バージョン
IBM HTTP Server	8.5.5
IBM WebSphere	9
	8.5.5.9 以降
Microsoft (IIS)	10 以降
Oracle WebLogic	12c (12.2.2.1、12.1.3.0.0)
Red Hat (JBoss)	Enterprise Application Platform 7.1.3

サポート対象の RDBMS およびドライバ

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
Apache Software Foundation (Apache HTTP)	10.9.1.0	derbyclient.jar

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
Microsoft (MS SQL Server)	2019	Microsoft JDBC Driver 8.4 for SQL Server mssql-jdbc-8.4.1.jre14.jar mssql-jdbc-8.4.1.jre11.jar mssql-jdbc-8.4.1.jre8.jar Microsoft JDBC Drive 8.2 for SQL Server mssql-jdbc-8.2.2.jre13.jar mssql-jdbc-8.2.2.jre11.jar mssql-jdbc-8.2.2.jre8.jar Microsoft JDBC Drive 7.4 for SQL Server mssql-jdbc-7.4.1.jre12.jar mssql-jdbc-7.4.1.jre11.jar mssql-jdbc-7.4.1.jre8.jar
	2017	mssql-jdbc-6.2.2.jre8.jar ダウンロードは、「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=55539 」から可能です。
	2016 2014 2012 2008	mssql-jdbc-6.2.2.jre8.jar ダウンロードは、「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=55539 」から可能です。 sqljdbc42.jar ダウンロードは、「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=54671 」から可能です。

ベンダー (RDBM S)	バージョン	JDBC ドライバ
IBM (Db2)	11.5	db2jcc4.jar
	10.5	
	9.7 FP4	
Oracle (Database)	19c	ojdbc8.jar
	18c	
	12c Release 2	
	12c Release 1	ojdbc7.jar
	11g Release 2	ojdbc6.jar
Oracle (MySql)	8.0.x	mysql-connector- java-8.0.19.jar
	5.7.x	
	5.6.x	
Postgresql	11.1	postgresql-42.2.11.jar
	10.7	
	9.6.x	
	9.5.x	

ローカリゼーション (NLV) および NLS の制限事項

TIBCO Software Inc. からは、一部の選別された言語で国際言語サポートおよびローカライズ版サポートが提供されています。その他の言語に関しては、技術サポートに新機能リクエストを送信することができます。

国際言語サポート (NLS)

国際言語サポート (NLS) は、さまざまな国際言語の文字セットを表すコードページで格納されたデータの読み取りと変換に必要です。TIBCO Software Inc. 独自の NLS API コードページアーキテクチャにより、アプリケーションクライアントとサーバコンポーネント間でデータがコード変換され、ソート処理、大文字小文字の変換、日付、通貨、数値の変換のすべてが管理されます。

ローカライズ版のサポート (NLV)

ローカライズ版は、ユーザインターフェース (例、メニュー、ユーティリティ) が特定の言語で表示されるソフトウェア製品です。ローカライズ版のインターフェースの配列は、すべての言語で共通です。ボタンやメニューの選択項目は、常に製品内の同一位置に表示され、ラベルのテキストのみが異なります。そのため、特定の言語で製品を使い慣れたユーザは、その製品を別の言語でも簡単に操作することができます。

ローカライズ版では、完全な国際言語サポート (NLS) 機能が提供されます。サポートされている任意の言語のデータにアクセスし、すべての国際言語文字を処理、表示、印刷することができます。

TIBCO WebFOCUS および TIBCO WebFOCUS Reporting Server

TIBCO WebFOCUS Reporting Server バージョンでは、データ処理で次のコードページがサポートされます。

ASCII プラットフォーム

137 - 英語 (米国)/西ヨーロッパ (Latin 1)	923 - Latin 9 (ISO 8859-15)
437 - 英語 (米国)	942 - 日本語 (shift-JIS)
813 - ギリシャ語 (ISO 8859-7)	946 - 中国語 (簡体字)
850 - 西ヨーロッパ言語	949 - 韓国語
852 - 中央ヨーロッパ言語	1089 - アラビア語 (ISO 8859-6)
857 - トルコ語	1250 - 中央ヨーロッパ言語 (Latin 2)
860 - ポルトガル語	1251 - キリル文字 (Windows)
862 - ヘブライ語	1252 - Windows (Latin 1)
863 - フランス語 (カナダ)	1253 - ギリシャ語 (Windows)
865 - 北欧ゲルマン系言語	1254 - トルコ語 (Windows)
866 - キリル文字 II	1255 - ヘブライ語 (Windows)
869 - ギリシャ語	1256 - アラビア語 (Windows)

912 - 中央ヨーロッパ言語 (ISO 8859-2)	1257 - バルト沿岸諸国言語 (Windows)
915 - キリル文字 (ISO 8859-5)	10942 - 日本語 (EUC)
916 - ヘブライ語 (ISO 8859-8)	10948 - 中国語 (繁体字)
920 - トルコ語 (ISO 8859-9)	65001 - Unicode (UTF-8)
921 - バルト語 (ISO 8859-13)	

言語

LANGUAGE パラメータは、国際言語サポート (NLS) の環境を指定します。このパラメータは、サーバのエラーメッセージに使用する言語を設定します。また、マスターファイルに別の言語の TITLE 属性が含まれている場合に、レポートタイトルに使用する言語をこのパラメータで設定することもできます。

Web コンソール、Data Migrator およびデータ管理コンソールでは、次の言語がサポートされます。

(* ローカライズ版)

- ☐ 英語 (米国)
- ☐ 英語 (オーストラリア)*
- ☐ アラビア語
- ☐ ポルトガル語 (ブラジル)
- ☐ 英語 (カナダ)*
- ☐ クロアチア語
- ☐ チェコ語
- ☐ デンマーク語
- ☐ オランダ語
- ☐ 英語
- ☐ エストニア語

- ☐ フィンランド語
- ☐ フランス語*
- ☐ ドイツ語*
- ☐ ギリシャ語
- ☐ ヘブライ語
- ☐ ハンガリー語
- ☐ イタリア語
- ☐ 日本語*
- ☐ 韓国語
- ☐ ラトビア語
- ☐ リトアニア語
- ☐ ノルウェー語
- ☐ ポーランド語
- ☐ ポルトガル語
- ☐ ルーマニア語
- ☐ ロシア語
- ☐ 中国語 (簡体字)*
- ☐ スロバキア語
- ☐ スペイン語*
- ☐ スウェーデン語
- ☐ 中国語 (繁体字)*
- ☐ タイ語
- ☐ トルコ語
- ☐ 英語 (イギリス)

TIBCO WebFOCUS Client および ReportCaster

WebFOCUS Client および ReportCaster では、次のローカライズ版がサポートされます。

次の言語は、翻訳および動作保証プロセスが完了しています。

グループ 1 (完全翻訳)

- ☐ 英語 (オーストラリア、カナダ、英国、米国)
- ☐ フランス語 (カナダおよび標準)
- ☐ ドイツ語
- ☐ スペイン語

グループ 2 (部分翻訳)

次の言語では、特定のエリアのみで翻訳およびテストが完了しています。未翻訳のテキストは英語で表示されます。

- ☐ 中国語 (簡体字)
- ☐ ポルトガル語 (ブラジル)
- ☐ イタリア語
- ☐ 日本語

グループ 3 (評価中)

次の言語では、特定のエリアのみで翻訳およびテストが完了しています。未翻訳のテキストは英語で表示されます。この言語を有効にする場合は、技術サポートに問い合わせてください。

- ☐ 韓国語

TIBCO WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート

ここでは、Microsoft Office 製品で出力を生成する WebFOCUS レポートフォーマットのサポートについて説明します。また、WebFOCUS でセキュリティ保護されたプロシジャに動的ドリルダウンリクエストを実行するハイパーリンクの注意事項についても説明します。

TIBCO WebFOCUS レポートフォーマットおよび Microsoft 製品との関連付け

下表は、Microsoft Excel および PowerPoint のレポートを作成する WebFOCUS のフォーマット、Microsoft Office のアプリケーション関連付け情報、および対応する Windows オペレーティングシステムのバージョンを示しています。

WebFOCUS フォーマット	Microsoft Office 製品	Windows オペレーティングシステム
XLSX	Microsoft Office 365、Microsoft Office 2016	Windows 10
	Microsoft Office 2016、2013、2010、2007	Windows 8
	Microsoft Excel Viewer 2007	Windows 7
PPTX	Microsoft Office 365、Microsoft Office 2016	Windows 10
	Microsoft Office 2016、2013、2010、2007	Windows 8
	Microsoft PowerPoint Viewer 2010	Windows 7
EXL2K (機能固定リソース)	Microsoft Office 2003、2000	Windows XP Windows 2000
PPT (機能固定リソース)	Microsoft Office 2003、2000	Windows XP Windows 2000

Windows オペレーティングシステムで利用できる Microsoft Office のバージョンについての詳細は、「[Get Windows 10 App](#)」を参照してください。各 PC に対応する互換性レポートおよび PC、オンボードデバイス、アプリケーションの統合互換表示が参照できます。

TIBCO WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマットおよび Microsoft Office 製品のサポート

ファイルタイプおよび Microsoft が導入したコンテンツセキュリティポリシーにより、WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマットは Microsoft Office 2013 以降サポートされません。WebFOCUS の XLSX、PPTX フォーマットは、Microsoft Excel XLSX、Microsoft PowerPoint PPTX のファイルタイプおよび Office 2013 以降のコンテンツセキュリティポリシーを完全にサポートします。

Microsoft Office 2003 のサポート

「[Get Windows 10 App](#)」を参照してください。各 PC に対応する互換性レポートおよび PC、オンボードデバイス、アプリケーションの統合互換表示が参照できます。WebFOCUS 製品は、Microsoft Office 2003 のアプリケーションでも起動および使用が可能ですが、Microsoft では継続してサポートやアップデートに対応できるよう Office の新しいバージョンへのアップグレードを推奨しています。Windows XP で Office 2003 を使用する場合は、Microsoft Office 2003 および Windows XP SP3 のサポート終了についての詳細を、「[Support for Windows XP ended](#)」で確認してください。

新しいバージョンの Microsoft Excel および PowerPoint で作成したドキュメント、ブック、プレゼンテーションの開始 (ファイルを開く)、編集、保存についての詳細は、「[Microsoft Office Compatibility Pack for Word, Excel, and PowerPoint File Formats](#)」を参照してください。

TIBCO WebFOCUS EXL2K および PPT フォーマットと Microsoft Office Viewer 製品のサポート

Microsoft Excel Viewer および PowerPoint Viewer は読み取り専用の製品です。これらの製品では、Microsoft Excel および PowerPoint のデータの表示と印刷のみが可能です。WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマットのレポートは、バージョンにかかわらず Microsoft Excel Viewer および Microsoft PowerPoint Viewer ではサポートされません。WebFOCUS の XLSX、PPTX フォーマットのレポートは、それぞれ Microsoft Excel Viewer と Microsoft PowerPoint Viewer でサポートされており、表示が可能です。

Microsoft は、古いバージョンの Microsoft Excel および Microsoft PowerPoint Viewer のサポート終了を発表しています。サポートされる Microsoft Office Viewer 製品のバージョンについての詳細は、「[Supported versions of the Office viewers](#)」を参照してください。Microsoft Office Viewer は、「[Microsoft Download Center](#)」からダウンロードすることができます。

Microsoft Office 365 のサポート

Microsoft Office 365 は、Microsoft Excel および PowerPoint 2013 のローカルインストール機能を提供します。Office 2010 に対応し、Office 2007 の一部機能にも対応しています。Microsoft Office 365 では、Office Online を使用してほとんどのデバイスからアクセス可能なクラウドに Microsoft Excel および PowerPoint のファイルをアップロードすることもできます。Microsoft Office 365 についての詳細は、「[Office 365 for business FAQ](#)」を参照してください。

Microsoft Office 365 を使用して、WebFOCUS の XLSX および PPTX フォーマットのレポートにアクセスすることができます。最初に、HOLD ファイルとして XLSX および PPTX レポートをローカルに作成するか、PCHOLD コマンドを使用してレポートを画面に表示し、ローカルディレクトリに保存します。保存したファイルは、OneDrive for Business にアップロード、保存されます。クラウドにアップロード済みのファイルには、Office Online を使用してアクセスすることができます。

Excel Online、PowerPoint Online および Microsoft Office 2013 で使用可能な機能の違いについての詳細は、「[Office Online Service Description](#)」を参照してください。

Office Online および OneDrive for Business の使用についての詳細は、「[Using Office Online in OneDrive](#)」を参照してください。

ハイパーリンクを使用してレポートを実行する際の注意事項

WebFOCUS レポートでハイパーリンクを選択し、ドリルダウンリクエストから WebFOCUS のセキュアな Web 環境でプロシジャを実行するには、セキュリティコンテキストまたはセッション関連 Cookie の継承が必要です。Microsoft Office 製品は、Web ベースのアプリケーションが作成したセキュリティコンテキストまたはセッション関連 Cookie を継承しません。

次のオプションは、WebFOCUS レポートのハイパーリンクが Microsoft Office 製品内で機能するよう Web 環境を構成するために使用されます。

- ❑ 匿名アクセスを許可するよう WebFOCUS 認証を構成する。
- ❑ SSO を IIS/Tomcat Windows 統合認証とともに使用する。再ネゴシエーションが自動的に発生し、Excel および PowerPoint レポートが正しく表示されます。
- ❑ WebFOCUS バージョン 8 では、[ログイン] ページの [ユーザを記憶する] 機能を有効にすることができます。エンドユーザが [ユーザを記憶する] 機能を使用した場合、永続 Cookie が使用されます。Microsoft Office 製品のセッション関連情報の処理についての詳細は、「[Error message when clicking hyperlink in Office: "Cannot locate the Internet server or proxy server"](#)」を参照してください。

TIBCO WebFOCUS の DOC フォーマット

WebFOCUS ドキュメントのスタイルフォーマットおよび印刷可能なフォーマットの標準は、Acrobat PDF フォーマットです。WebFOCUS の PDF フォーマットは、Acrobat PDF ドキュメントを作成します。WebFOCUS DOC フォーマットは、Microsoft Word ドキュメントではなく、文字ベースのファイルを生成します。

Legal and Third-Party Notices

SOME TIBCO SOFTWARE EMBEDS OR BUNDLES OTHER TIBCO SOFTWARE. USE OF SUCH EMBEDDED OR BUNDLED TIBCO SOFTWARE IS SOLELY TO ENABLE THE FUNCTIONALITY (OR PROVIDE LIMITED ADD-ON FUNCTIONALITY) OF THE LICENSED TIBCO SOFTWARE. THE EMBEDDED OR BUNDLED SOFTWARE IS NOT LICENSED TO BE USED OR ACCESSED BY ANY OTHER TIBCO SOFTWARE OR FOR ANY OTHER PURPOSE.

USE OF TIBCO SOFTWARE AND THIS DOCUMENT IS SUBJECT TO THE TERMS AND CONDITIONS OF A LICENSE AGREEMENT FOUND IN EITHER A SEPARATELY EXECUTED SOFTWARE LICENSE AGREEMENT, OR, IF THERE IS NO SUCH SEPARATE AGREEMENT, THE CLICKWRAP END USER LICENSE AGREEMENT WHICH IS DISPLAYED DURING DOWNLOAD OR INSTALLATION OF THE SOFTWARE (AND WHICH IS DUPLICATED IN THE LICENSE FILE) OR IF THERE IS NO SUCH SOFTWARE LICENSE AGREEMENT OR CLICKWRAP END USER LICENSE AGREEMENT, THE LICENSE(S) LOCATED IN THE "LICENSE" FILE(S) OF THE SOFTWARE. USE OF THIS DOCUMENT IS SUBJECT TO THOSE TERMS AND CONDITIONS, AND YOUR USE HEREOF SHALL CONSTITUTE ACCEPTANCE OF AND AN AGREEMENT TO BE BOUND BY THE SAME.

This document is subject to U.S. and international copyright laws and treaties. No part of this document may be reproduced in any form without the written authorization of TIBCO Software Inc.

TIBCO, the TIBCO logo, the TIBCO O logo, FOCUS, iWay, Omni-Gen, Omni-HealthData, and WebFOCUS are either registered trademarks or trademarks of TIBCO Software Inc. in the United States and/or other countries.

Java and all Java based trademarks and logos are trademarks or registered trademarks of Oracle Corporation and/or its affiliates.

All other product and company names and marks mentioned in this document are the property of their respective owners and are mentioned for identification purposes only.

This software may be available on multiple operating systems. However, not all operating system platforms for a specific software version are released at the same time. See the readme file for the availability of this software version on a specific operating system platform.

THIS DOCUMENT IS PROVIDED "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT.

THIS DOCUMENT COULD INCLUDE TECHNICAL INACCURACIES OR TYPOGRAPHICAL ERRORS. CHANGES ARE PERIODICALLY ADDED TO THE INFORMATION HEREIN; THESE CHANGES WILL BE INCORPORATED IN NEW EDITIONS OF THIS DOCUMENT. TIBCO SOFTWARE INC. MAY MAKE IMPROVEMENTS AND/OR CHANGES IN THE PRODUCT(S) AND/OR THE PROGRAM(S) DESCRIBED IN THIS DOCUMENT AT ANY TIME.

THE CONTENTS OF THIS DOCUMENT MAY BE MODIFIED AND/OR QUALIFIED, DIRECTLY OR INDIRECTLY, BY OTHER DOCUMENTATION WHICH ACCOMPANIES THIS SOFTWARE, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY RELEASE NOTES AND "READ ME" FILES.

This and other products of TIBCO Software Inc. may be covered by registered patents. Please refer to TIBCO's Virtual Patent Marking document (<https://www.tibco.com/patents>) for details.

Copyright © 2022. TIBCO Software Inc. All Rights Reserved.